

平成 28(2016)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第 36 号



2017

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来より対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを裏付けるように、市内には数多くの遺跡が残されています。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来、二度にわたる増改築で施設を充実させるとともに、増加する資料の保管場所として新たに月隈収蔵庫の取得、保存処理用事前調査機器の更新も行いました。これらを活用し、文化財の適切な保管と活用に努めてまいります。

平成28年度は『ひとのかたちと、こころをうつす ―絵画と造形の考古学―』というテーマで考古学講座を8回実施し、多くの市民の方に受講していただきました。展示におきましては、常設展示のほかに考古学講座に合わせた企画展示やプチ展示と称した逸品展示に加え、新たに新収蔵品展のコーナーを設けました。また、41校の小学校で出前授業を実施し、3000人を超える児童に地域の歴史や出土品に触れていただくことができました。

平成28年度には、博多遺跡群出土資料の重要文化財指定の答申という大きなトピックスがあり、新聞等でも大きく取り上げられました。これを受けて平成29年度の考古学講座は『中世博多の考古学』とし、機運を盛り上げているところです。

末尾になりましたが、今後なお一層、当センターをご利用されることをお願い申し上げますとともに、関係各位のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月28日

福岡市教育委員会
教育長 星子 明夫

目次

I 平成28(2016)年度の活動	
1. 博多遺跡群出土遺物の重要文化財指定	1
2. 庚寅銘大刀復元品の製作	2
3. 教育・普及	4
4. 資料の収蔵・整理	15
5. 保存処理	20
6. 入館者数	32
7. 平成28年度当初予算	32
II 保存処理用事前調査機器の更新について	33
III 錫を装飾に用いた古墳出土鉄製品の事例	39
IV 埋蔵文化財センターの概要	43
1. 組織と職員	43
2. 施設	43
3. 月隈収蔵庫の取得	45
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	46
付2 平成28(2016)年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧	48

例言

1. 本書は平成28年度(2016年4月1日～2017年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の執筆は、I-1を大庭康時、I-2・I-5・II・IIIを比佐陽一郎、I-3を大森真衣子、その他を今井隆博が担当し、編集は今井が行った。

*表紙写真：重要文化財に指定された博多遺跡群出土遺物

I 平成28(2016)年度の活動

1. 博多遺跡群出土遺物の重要文化財指定

(1) 指定について

平成29年3月10日に行われた国の文化審議会において、福岡市博多区の博多遺跡群から出土した遺物2,138点の重要文化財指定が文部科学大臣に答申され、平成29年9月15日、重要文化財に指定された。

(2) 博多遺跡群について

博多遺跡群は、古代の貿易拠点であった鴻臚館が11世紀中頃に衰退した後を受け、11世紀後半から17世紀前半に鎖国を迎えるまで中世のほぼ全期間を通じて、国内最大の貿易都市として繁栄した「博多」の遺跡である。

(3) 指定品の内訳

昭和52(1977)年から平成26(2014)年までに実施された192地点の発掘調査で出土した、平箱3万箱分の遺物から、歴史的重要性・一括性・希少性に着目して厳選した2,138点が、今回重要文化財に指定された。

中国・朝鮮・東南アジア産陶磁器などの貿易陶磁器1,496点を中心に、国産陶器46点、土師

器・土製品185点、木器・木製品61点、金属製品187点、石製品77点、ガラス製品31点、骨角製品53点、烏帽子残欠2点である。

これらには、貿易陶磁器の一括埋納資料や、輸送中の破損や火災などの理由でまとめて廃棄された陶磁器など、人々の活動の痕跡を復元する貴重な一括資料も含まれている。

また、白磁人形水滴、青白磁筆架などの優品や、中国人名を記した墨書陶磁器、中国系の瓦や、ガラス埴塙、ガラス素材など、平安時代末から鎌倉時代前半にかけて博多に存在したとされる博多唐房の実態を示す資料が多くある。

(4) 指定に係る評価

これらの出土品は、古代末から中世のわが国における貿易の広がりや、技術や製品の伝播と交流の実態を明らかにするとともに、港湾都市・商業都市における生活実態を具体的に示す資料として貴重であり、きわめて重要な学術的価値を有している、と評価され重要文化財に指定された。



2. 庚寅銘大刀復元品の製作

福岡市西区の元岡 G-6号墳から出土した「庚寅銘大刀」は、平成23年に出土し、直後に行われた透過 X 線撮影により、19文字の象嵌が発見され、大きな話題となった。その後、象嵌部分の X 線 CT を用いた詳細調査を経て、文字の表出作業を中心とした保存処理作業が平成24～26年度に行われ、平成27年1月に全19文字の表出が完了した。その過程で、象嵌が金であることが明らかとなり、更に資料の価値を高めることとなった。

実物資料の中で、象嵌文字は金を用いていることから、保存処理によって当時の輝きを取り戻すことができたが、刀身は鉄製のため全体が錆に置き換わってしまっていた。埋蔵環境下で腐食等によりその姿が大きく変化した考古資料について、作られた当時の姿を再現することは、資料を見る人の想像力を補完、あるいは刺激し、実物資料に対する理解や興味を深める効果を有する。そこで、福岡市の歴史を知る上で特に重要な資料である庚寅銘大刀についても、復元品を製作することとした。製作は専門業者(スタジオオ三十三)への委託により行った。

なお、本事業は文化庁による国庫補助事業である「地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業」により実施したものである。

博物館における二次資料の一つである復元品には、見た目の再現を目的とするものと、製作技法まで再現するものがある。本来であれば刀身についても製作技術を細かく検討した上で再現した方が、より教育的効果が高まることは間違いないが、予算や時間等、様々な制約から、今回、刀身は軟鉄を刀の形状に切り出したものを研磨して用いることとした。しかし、象嵌については本資料における中核を成す部分であり、見た目だけを似せる復元は躊躇われた。そこで、

製作の仕様書において、象嵌作業は同じ九州内の伝統工芸技術である肥後象嵌の技術者に依頼することを条件とした。結果として、肥後象嵌士の中で、作品の制作以外にも広く興味を持って仕事をしている稲田憲太郎氏が象嵌作業を担うこととなった。

契約期間は平成28年12月22日～平成29年3月31日で、この間に二本の復元品が製作された。この内、1本は実物に忠実に象嵌を施したもの、もう1本は、象嵌の金線表面を取って荒らして細かい凹凸を付けたものとしている。これは、前者では、刀身が鏡面研磨されているため、象嵌があまり目立たない事による。刀身も含め、もう少し粗めの研磨をすれば、金象嵌の見え方が改善されたのかもしれない。

中世以降の太刀や日本刀は、かなり細かい研磨が施されているが、古墳時代の大刀がどこまで研磨されていたのか。伝世品とされる石上神宮の七支刀でも表面は腐食層に覆われており、出土品でそれを推察することは困難である。可能性として、古墳時代の砥石について細かい研究が進めば、ある程度の推測は可能になるものと思われる。象嵌の見え方とも関わる大きな問題であり、深く検討すべきであったが今後の課題としたい。

象嵌作業については、刀身の固定や文字を彫る際の姿勢等について疑問や知見が得られたようであるが、その詳細については稲田氏への取材等により別の機会に報告できればと考える。

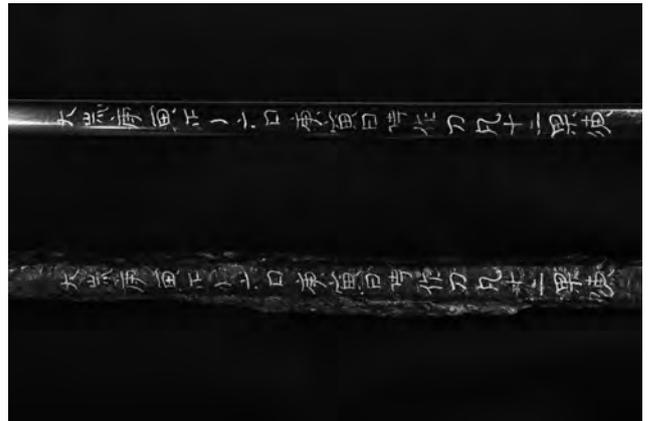
今回製作した復元品は、実物とともに庚寅銘大刀の価値や、更には福岡市の歴史を広く伝えるためのアイテムとして、展示や出前授業等の場を通じて活発に活用されることが期待される。



実物(上)と復元品(下)



復元品における仕上がり二種の比較



実物と復元品の象嵌文字比較



象嵌作業風景(人物が稲田憲太郎氏)



象嵌作業工程

3. 教育・普及

(1) 教育活動

1) 出前授業

福岡市の教育方針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想をもって様々なことを構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。

このため平成17年度から当センターでは、上記の趣旨を生かし、併せて義務教育学校におけ

る郷土の歴史学習の充実と拡大を図るための具体的施策として、依頼のあった学校へ当センターの職員（文化財専門職）を派遣し、出土品に直接触れて歴史を身近に感じると共に古代の生活体験をとおして歴史認識を深めることを授業の骨格とする出前授業要項を策定、決定して本格的に事業を開始した。

平成28（2016）年度授業プログラム

No.	授業名	時間	単位	構成	授業概要
1	大昔の暮らし① 「火起こし」	90分	学級	班	道具を用いて2種類の火起こしを体験。火が生活に与えた影響と発火技術の変遷を学習。
2	大昔の暮らし② 「祈りとまじない」	90分	学級	班	勾玉を製作体験。祈りの品を用いて昔の人々の生活と想いを学習。
3	大昔の暮らし③ 「大昔の暮らしと国の統一」	45分	学級	班	縄文時代と弥生時代の生活の違いを出土品に触れ、班員が討議して理解する。
4	大陸とのまじわり① 「卑弥呼と鏡」	90分	学級	班	金属製（低温度溶解金属）の鏡を鋳造製作体験。金属加工等の外来技術をとおして大陸とのつながりを学習。
5	大陸とのまじわり② 「木簡を書く」	90分	学級	班	木簡を製作体験。鴻臚館跡の出土品に触れ、奈良時代の役人の生活や古代におけるアジアとのつながりを学習。
6	職業体験 「チャレンジ考古学」	45分	学級	班	模型を用いた土器の復元作業や拓本作業を体験。将来の就業に向けた動機付けとして、学芸員業務の一端を学習。



「チャレンジ考古学」授業風景



「卑弥呼と鏡」授業風景



「祈りとまじない」授業風景



「火起こし」授業風景

平成28(2016)年度出前授業実施状況

	授業実施日	学校名	受講生徒数	授業プログラム	授業回数
1	4月14日(木)	今津小学校	15	大昔のくらし①「火起こし」	1
2	4月15日(金)	当仁小学校	100	職業体験「チャレンジ考古学」	3
3	4月20日(水)	西長住小学校	26	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
	4月21日(木)	西長住小学校	26	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
4	4月26日(火)	賀茂小学校	87	職業体験「チャレンジ考古学」	3
5	4月27日(水)	壱岐東小学校	35	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
6	4月28日(木)	北崎小学校	12	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
7	5月6日(金)	飯倉小学校	78	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
8	5月11日(水)	玄界小学校	4	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
9	5月12日(木)	住吉小学校	58	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
	5月13日(金)	住吉小学校	29	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
10	5月17日(火)	吉塚小学校	76	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
11	5月18日(水)	石丸小学校	37	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
	5月19日(木)	石丸小学校	72	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
12	5月25日(水)	西陵小学校	37	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
13	5月26日(木)	高木小学校	66	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
14	6月1日(水)	高宮小学校	28	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
	6月2日(木)	高宮小学校	29	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
15	6月7日(火)	曲淵小学校	4	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
16	6月8日(水)	西戸崎小学校	62	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
17	6月10日(金)	飯原小学校	54	大昔のくらし①「火起こし」	2
18	6月14日(火)	筑紫丘小学校	28	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
	6月15日(水)	筑紫丘学校	58	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
19	6月16日(木)	席田小学校	41	大陸との交わり②「木簡を書く」	2
20	6月21日(火)	那珂南小学校	62	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
	6月23日(木)	那珂南小学校	31	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
21	6月22日(水)	四箇田小学校	64	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
22	6月24日(金)	香椎浜小学校	47	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
23	6月29日(水)	玄洋小学校	66	大昔のくらし①「火起こし」	2
	6月30日(木)	玄洋小学校	65	大昔のくらし①「火起こし」	2
	7月1日(金)	玄洋小学校	32	大昔のくらし①「火起こし」	1
24	7月6日(水)	有住小学校	47	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
25	7月7日(木)	西花畑小学校	63	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
	7月8日(金)	西花畑学校	32	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
26	7月12日(火)	臼佐小学校	64	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
27	7月14日(木)	板付小学校	63	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
	7月15日(金)	板付小学校	63	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
28	9月1日(木)	城浜小学校	28	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
29	9月6日(火)	三筑小学校	34	大昔のくらし①「火起こし」	1
	9月7日(水)	三筑小学校	68	大昔のくらし①「火起こし」	2
30	9月9日(金)	早良小学校	34	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	1
31	9月13日(火)	内浜小学校	62	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
	9月14日(水)	内浜小学校	61	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
32	9月28日(水)	大池小学校	65	職業体験「チャレンジ考古学」	2
33	10月6日(木)	長住小学校	78	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
34	10月7日(金)	和白小学校	107	大昔のくらし①「火起こし」	3
35	10月12日(水)	小田部小学校	66	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
	10月13日(木)	小田部小学校	65	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
36	10月14日(金)	三苦小学校	126	大昔のくらし①「火起こし」	3
37	10月18日(火)	香椎小学校	33	大陸との交わり②「木簡を書く」	1
	10月19日(水)	香椎小学校	68	大陸との交わり②「木簡を書く」	2
38	10月21日(金)	福浜小学校	32	大昔のくらし①「火起こし」	1

39	10月26日(水)	百道小学校	61	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
	10月28日(金)	百道小学校	63	大陸との交わり①「卑弥呼と鏡」	2
40	11月16日(水)	東月隈小学校	62	大昔のくらし②「祈りとまじない」	2
	11月17日(木)	東月隈小学校	32	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
41	12月6日(火)	鳥飼小学校	31	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
	12月7日(水)	鳥飼小学校	31	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
	12月8日(木)	鳥飼小学校	31	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
	12月9日(金)	鳥飼小学校	31	大昔のくらし②「祈りとまじない」	1
			3031		98

2) 子ども考古学教室

児童生徒たちが、実際の出土遺物に触れたり、歴史認識を深めることを目的とした。夏休み期間中に「子ども考古学教室」1回を実施した。

開催日	概要	受講者数
平成28年8月20日(土) 10:00～12:00、13:00～15:00	オリエンテーション・センター内の見学を行う。 鏡の歴史を学び、鑄造作業を行う。	117名



子ども考古学教室「銅鏡づくり」

3) 博物館実習

毎年、市内外の大学からの博物館学芸員(補)資格取得を目的とした博物館実習の依頼に博物館相当施設である本センターは応じている。2015年度も実習生を受け入れて下記のように実施した。本センターの実習における特徴として、博多駅地下通路に設置されている2箇所の展示施設(fギャラリー)を実際に用いることにある。

実習生は二つのグループに分かれ、職員の助言を受け、グループごとに展示計画を立案・検討して作業を進めていく。実習の最終日前日には、前年度の実習生が展示した作品を撤去した後に、実習生が展示を行う。展示された作品は、今後1年間、地下通路を通る人たちの目を楽しませるものとなった。

	概要
実習期間	平成28年8月16日(火)～8月27日(土)
実習内容	オリエンテーション・施設見学・資料収蔵管理実習・教育普及実習 遺物保存処理実習・図書資料管理実習・展示実習・講座受講・実習反省会
実習生	10名(九州産業大学芸術学部、高知大学人文学部、駒澤大学文学部、西南学院大学法学部、福岡大学人文学部、筑紫女学園大学文学部)

	実習内容
8月16日(火)	オリエンテーション センター施設見学 文化財行政と埋蔵文化財センターの役割 貸出・展示について 展示計画Ⅰ
8月17日(水)	遺物の収蔵管理について 展示計画Ⅱ 遺物の収蔵・整理(実習) fギャラリー見学
8月18日(木)	資料の利用と活用 遺物の保存と活用Ⅰ
8月19日(金)	展示計画Ⅲ 子ども考古学教室準備
8月20日(土)	子ども考古学教室
8月23日(火)	遺物の保存と活用Ⅱ
8月24日(水)	展示計画Ⅳ
8月25日(木)	展示計画Ⅴ
8月26日(金)	展示準備・fギャラリー展示作業
8月27日(土)	実習を振り返って 教育普及活動について レポート作成



実習生展示①「博多のじょうもんさん」



実習生展示②「你好！博多チャイナタウン」

(2) 普及活動

1) 展示

①常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の成果を「埋蔵文化財とは何か」、「埋蔵文化財の保存処理」、「埋蔵文化財の修復」、「発掘現場での保存科学的作業」、「埋蔵文化財の収蔵管理と活用」、「埋蔵文化財と考古学」、「旧石器・縄文時代の福岡」の項目で展示している。木器・金属器等の科学的保存処理の成果を展示している。



第1展示室

第2展示室では、江戸時代に鎖国されるまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」、「奴国以前」、「大型建物」、環濠・大溝・条溝、「墳丘墓」、「争う」、「交流と交易」、「祭る」、「装う」、「まかなう」、「つくる」と「日本の玄関・博多」、「鴻臚館の時代」、「匠」、「海外との交易」、「国内の交易」、「中世博多の情景」、「たしなむ・あそぶ」、「戦乱」の項目でテーマ展示を行っている。



第2展示室

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展、発掘

調査速報展・特別展などを実施している。平成28年度は下表のとおり3回の展示を実施した。

第3展示室展覧会開催一覧

種別	名称	期間
企画展	「ひとのかたちと、ところをうつす」 —絵画と造形の考古学— 前期展	平成28年5月17日～平成28年8月20日
	「ひとのかたちと、ところをうつす」 —絵画と造形の考古学— 後期展	平成28年8月30日～平成29年1月21日
特別展	「甦る出土遺物展」—平成27年度保存処理成果—	平成29年1月31日～平成29年3月26日



企画展「絵画と造形の考古学」



「甦る出土遺物」展

②館外展示

本センターでは、出土品の活用の一環として、地域・学校等の身近なところで出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が自然と深まるように努めている。

市の歴史理解を深めてもらうことを目的とし、依頼に基づいたテーマに沿った地域短期型の展示会を開催するもの。本センターが企画から展示まで担当し、依頼者はテーマと展示会場の確保だけを担うものである。

A ま～るごと博物館

市役所・区役所庁内の各フロアーや地下鉄駅構内に市内遺跡出土品を展示して市民や内外の来訪者が容易に本市の歴史と接する機会を設けたもの。将来的には各建物全体に展示テーマに即した資料を配置して、施設を一巡することで歴史を身近に感じられるようにするものである。

【設置場所】教育委員教育長室・総務部長室／博多駅地下連絡通路

B ふるさと校区博物館

公民館や小学校に小型展示ケースを設置して遺跡から出土した考古資料を展示するもの。特に展示品は各校区内の遺跡から出土したものに限定することにより、生徒や利用者が校区の歴史と容易に接することを可能とした。さらに人々が歴史を身近に感じるにより、ふるさとを誇りに思える環境のひとつを提供するものである。

【設置場所】三苦小学校／馬出小学校／板付北小学校／野多目小学校／賀茂小学校／城原小学校／西戸崎小学校／福浜小学校／城南小学校／四箇田公民館／老司公民館／金武公民館

C 出前博物館

地域商店街や自治会、さらには市内で開かれる各種フェスタ・学会等の主催者と連携して福岡



賀茂小学校



城南小学校



高取商店街



グランドホームサンケア和白

2) 公開講座

①考古学講座

平成28年度の考古学講座は「絵画と造形の考古学」をテーマとした。

旧石器時代から近世まで、各時代における絵画・造形資料を取り上げ、そのものの紹介や最新の研究成果、それらが作られた社会的背景や、そこから窺える精神世界について、福岡市が積み重ねてきた発掘調査で検出した遺構・出土した遺物を可能な限り活用して考古学的に考察す

る試みである。各方面における研究の第一人者を招き、8回の講座を開催した。

②速報講座

当センターにおける平成27年度の出土遺物の保存処理成果の紹介、ならびに平成28年度における市内発掘調査報告につき、2回の講座を開催した。

平成28(2016)年度 考古学講座一覧

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	平成28年5月21日(土)	序説 造形と絵画の起源	国立歴史民俗博物館 春成 秀爾氏	136名
第2回	平成28年6月25日(土)	土偶と装身具にみる縄文人の身体装飾	奈良女子大学 武藤 康弘氏	134名
第3回	平成28年7月23日(土)	弥生絵画の世界	天理大学 深澤 芳樹氏	136名
第4回	平成28年9月10日(土)	人物埴輪の成立と展開	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 小栗 明彦氏	125名
第5回	平成28年10月22日(土)	先人のおもいを、壁画にたどる	宗像市郷土文化課 石山 勲氏	118名
第6回	平成28年11月19日(土)	古代の人形、その信仰と系譜	國學院大学 笹生 衛氏	89名
第7回	平成28年12月17日(土)	中国陶磁にみるミニチュア人形の世界	大阪市立東洋陶磁美術館 小林 仁氏	97名
第8回	平成29年1月21日(土)	発掘調査からみた博多人形	太宰府市教育委員会 山村 信榮氏	89名

平成28(2016)年度 速報講座一覧

	開催日	講演題	講師	受講者数
第1回	平成29年2月18日(土)	甦る出土遺物 ～平成27年度保存処理成果から～	福岡市埋蔵文化財センター 保存処理担当	58名
第2回	平成29年3月18日(土)	発掘調査総まとめ ～平成28年度市内調査から～	福岡市文化財部 佐藤 一郎氏	75名

3) 資料利用

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は館内利用と館外利用(貸出)とに分かれる。貸出期間が1年以上のものは長期貸出、未満のものは短期貸出として区分している。

館内利用

利用種類	件数	点数
考古資料	76	14054
写真・記録類	12	139
図書	331	5640
計	419	19833

館外利用

貸出種類	件数	点数		
		考古資料	写真他	合計
長期貸出	46	2311	21	2332
短期貸出	118	996	438	1434
計	164	3307	459	3766

4) 図書の収蔵と閲覧

①平成28年度図書受入状況

計2277冊(一般2113冊・雑誌164冊)

内訳：購入90冊(一般2冊・雑誌88冊)・受贈
2187冊(一般2111冊・雑誌76冊)

②平成28年度廃棄蔵書数0冊

③平成28年度末蔵書数96714冊(購入10068冊・
受贈86646冊)

5) 施設の利用

利用日	利用者	利用内容	人数	利用施設
平成28年4月16日(土)	アジア文化財協力協会	研究会	10名	研修室
平成28年4月23日・24日(土・日)	出土木器研究会	研究会	34名	特別収蔵庫
平成28年5月1日(日)	北部九州中近世城郭研究会	研究会	10名	研修室
平成28年6月28日(火)	高取焼専門調査委員会	委員会	2名	研修室
平成28年6月29日(水)	高取焼専門調査委員会	委員会	20名	研修室
平成28年6月30日(木)	デイサービスにこスパ	研究会	11名	研修室
平成28年7月10日(日)	中世土器研究会	研究会	17名	研修室
平成28年8月14日(日)	北部九州中近世城郭研究会	研究会	7名	研修室
平成28年8月16日(火)	長崎県考古学会	研究会	7名	閲覧室
平成28年8月28日(日)	埋蔵文化財研究集会	研究会	8名	研修室
平成28年12月9日(金)	金属遺物談話会	研究会	9名	研修室

6) 団体見学・施設見学

見学日	団体名	人数
平成28年5月6日(金)	粕屋中央小学校	156名
平成28年5月8日(日)	水城野俳句の会	10名
平成28年5月18日(水)	かたらんね	7名
平成28年5月18日(水)	電通歩こう会	15名
平成28年5月25日(水)	宮竹公民館	11名
平成28年6月23日(木)	板付小学校	150名
平成28年7月2日(土)	福岡大学大濠高等学校	7名
平成28年7月28日(木)	デイサービスウィズランドスマイルプラザ	8名
平成28年8月18日(木)	しあわせ駅大野城	13名
平成28年8月21日(日)	NHK文化センター福岡教室	9名
平成28年8月30日(火)	にこデイサービス	5名
平成28年9月15日(木)	清新館ようじ園	12名
平成28年9月16日(金)	西陵公民館	20名
平成28年9月17日(土)	歩こう会(北九州市)	14名

平成28年9月28日(水)	博多ガイドの会	15名
平成28年10月1日(土)	街道ウォーク	14名
平成28年10月4日(火)	玄洋校区役員会	2名
平成28年10月11日(火)	箱崎公民館松寿大学	41名
平成28年10月18日(火)	戸切人権のまちづくり館	14名
平成28年10月20日(木)	周南市立勝間小学校	91名
平成28年11月10日(木)	みやき町教育委員会	95名
平成28年11月12日(土)	福岡市立中央児童会館	22名
平成28年11月19日(土)	春日市文化財	20名
平成28年11月20日(日)	あるかね大宰府	26名
平成28年12月15日(木)	板付小学校	8名
平成28年12月20日(火)	筑紫女学園中学校	43名
平成29年2月4日(土)	たけのこクラブ若久	12名
平成29年2月9日(木)	博多区役所	28名
平成29年2月19日(日)	ウィズランドスマイルプラザ	5名
平成29年2月24日(金)	歴史の会サン福岡	34名
平成29年3月28日(火)	学童保育スイミー	18名
平成29年3月29日(水)	健老会	23名

7) 刊行物

①『福岡市埋蔵文化財センター年報』第35号 平成27(2015)年度 A4版 34ページ 平成29年1月31日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。

②『見学のしおり』(展示案内パンフレット) B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。

③『マイコレ』(児童向け収蔵品紹介) 変形A4版3つ折り6ページ。児童に無料配布。

④『2016年度講座案内』(チラシ) A4版2ページ。文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

平成28年度は8カ所の施設で延べ9回実施し、228名の参加を得た。

8) 出前歴史講座

当センターでは、市内各公民館を対象として、依頼のあった施設へ当センターの職員(文化財教育普及専門員)を派遣し、各地域の出土品に直接触れる体験を主体とした「出前歴史講座」を平成24年度から実施している。おもに高校生以上成人を対象としているが、夏休み限定として中学生以下児童向けのプログラムも設けている。

平成28(2016)年度資料貸出等一覧

件数	区分	申請者	資料名	点数				許可日 (貸出日)	備考
				遺物	写真	他	計		
1	A	福岡市博物館学芸課	城ノ原他	1206	0	0	1206	20160401	常設展示
2	A	国立歴史民俗博物館	板付・有田・三筑	25	0	0	25	20160401	常設展示
3	A	大阪府立弥生文化博物館	今山・藤崎・有田他	24	0	0	24	20160401	常設展示
4	A	広島県立歴史博物館	博多陶磁器	6	0	0	6	20160401	常設展示
5	A	焼津市歴史民俗資料館	藤崎58号甕棺	2	0	0	2	20160401	常設展示
6	A	新宮町教育委員会	石丸古川・飯氏ソウサ土器	3	0	0	3	20160401	町立歴史資料館内常設展示
7	A	リコーテクノシステムズ(株)九州支社	比恵25次土器	3	0	0	3	20160401	ロビー常設展示
8	A	グランドホームサンケア和白	唐原土器・展示台	6	0	0	6	20160401	ロビー常設展示
9	A	粕屋町教育委員会	戸原麦尾六花鏡・陶磁器	44	0	0	44	20160401	町立歴史資料館内常設展示
10	A	菊池市教育委員会	博多人骨・陶磁器他	150	0	0	150	20160401	菊池神社歴史館内常設展示
11	A	東京国立博物館	鴻臚館陶磁器	23	0	0	23	20160401	平成館考古展示室常設展示
12	A	市立賀茂小学校	鶴町土器・石器	36	0	0	36	20160401	校内常設展示
13	A	市立馬出小学校	箱崎馬出土器	6	0	0	6	20160401	校内常設展示
14	A・B・C	市立三苫小学校	三苫土器・石器・ケース	69	3	2	74	20160401	校内常設展示
15	A	市立野多目小学校	野多目土器	40	0	0	40	20160401	校内常設展示
16	A	市立城原小学校	拾六町ソイジ	25	0	0	25	20160401	校内常設展示
17	A	市立板付北小学校	板付土器	9	0	0	9	20160401	校内常設展示
18	A	市立西戸崎小学校	海の中道製塩土器他・展示台	15	0	0	15	20160401	校内常設展示
19	A	市立城南小学校	田島B、飯倉C・A遺跡出土品	16	0	0	16	20160401	校内常設展示
20	A	博多区総務部振興課	博多土器・陶磁器他	43	0	0	43	20160401	まちかど文化ひろば「fギャラリー」展示
21	A	福岡市文化財保護課(鴻臚館展示館)	鴻臚館跡出土陶磁器など	132	0	0	132	20160401	館内常設展示
22	A	福岡市文化財保護課(金隈展示館)	金隈遺跡出土土器	61	0	0	61	20160401	館内常設展示
23	A	福岡市文化財保護課(野方遺跡展示館)	野方遺跡出土遺物	42	0	0	42	20160401	館内常設展示
24	A	福岡市文化財保護課(板付弥生ムラ)	板付遺跡出土遺物	71	0	0	71	20160401	館内常設展示
25	A	群馬県立歴史博物館	藤崎50号甕棺	2	0	0	2	20160401	館内常設展示
26	A	神戸市教育委員会	有田64次甕棺	3	0	0	3	20160401	センター内常設展示
27	A	高口産業株式会社	博多126次白磁他	7	0	0	7	20160401	エントランス常設展示
28	A	市川市立考古博物館	西新町遺跡出土甕棺	2	0	0	2	20160401	館内常設展示
29	A・C	古賀市教育委員会	藤崎遺跡第2次調査出土40号甕棺他	2	0	1	3	20160401	館内常設展示
30	A	東北歴史博物館	有田遺跡群第7次調査出土弥生壺	1	0	0	1	20160401	館内常設展示
31	A	西南学院大学	羽根戸原C遺跡出土須恵器	20	0	0	20	20160401	博物館実習教材
32	A	福岡市博物館管理課	藤崎・徳永遺跡他土器	10	0	0	10	20160401	博物館体験学習
33	A	四箇田公民館	四箇田2次精製土器・十字形石器など	8	0	0	8	20160401	館内常設展示
34	A・C	老司公民館	老司古墳出土埴輪	2	0	2	4	20160401	館内常設展示
35	A・C	金武公民館	展示ケース、吉武遺跡群出土土器・石器	4	0	3	7	20160401	地域住民への吉武高木遺跡普及のため公民館に展示
36	A	福岡市教育委員会総務課(教育次長室)	鴻臚館跡出土青磁双耳壺	1	0	0	1	20160401	常設展示
37	A	福岡市教育委員会総務課(総務部長室)	クエソノ遺跡有蓋高杯・蓋	2	0	0	2	20160401	常設展示
38	A	茨城県立歴史館	吉武高木・藤崎遺跡出土甕棺	4	0	0	4	20160401	館内常設展示
39	A	九州国立博物館	雀居遺跡出土土器など	65	0	0	65	20160401	館内常設展示
40	A	兵庫陶芸美術館	博多遺跡出土磁器	15	0	0	15	20160401	館内常設展示
41	A	独立行政法人都市再生機構九州支社	宝台遺跡出土弥生土器高杯	3	0	0	3	20160401	宝台団地内管理事務所に常設展示
42	A	戸切人権のまちづくり館	戸切遺跡出土須恵器杯他	24	0	8	32	20160401	館内常設展示
43	A	ダイワロイアル株式会社	博多遺跡出土陶磁器他	27	0	0	27	20160401	ホテル内常設展示
44	A	九州歴史資料館	元岡桑原遺跡群編みかご	1	0	0	1	20160401	館内常設展示
45	A・C	福岡市教育センター	羽根戸古墳群出土品	48	0	2	50	20160401	館内常設展示
46	A	西日本鉄道株式会社	博多28次出土品	3	0	0	3	20160401	西鉄祇園ビルエントランスに展示
47	A	大阪府立弥生文化博物館	比恵遺跡群第51次調査出土鍔造鉄斧他	77	0	0	77	20160412	春季特別展に展示
48	A	福岡市博物館	大原D遺跡第3次調査出土縄文土器他	42	0	0	42	20160404	企画展に展示
49	A	個人	雀居遺跡第5次調査出土石斧他	25	0	0	25	20160415	大学での授業に使用
50	D	個人	吉武K7号墳石室奥壁	0	1	0	1	20160419	書籍に掲載
51	D	株式会社雄山閣	箱崎遺跡第32次調査出土龍泉窯系青磁香炉	0	1	0	1	20160420	書籍に掲載
52	B	個人	吉武高木遺跡 3号木棺墓他	0	7	0	7	20160420	書籍に掲載
53	B	株式会社ランス	博多遺跡群第14次調査出土白磁集積他	0	3	0	3	20160422	書籍に掲載
54	B	株式会社平凡社地図出版	板付遺跡全景	0	1	0	1	20160426	書籍に掲載
55	B	株式会社同成社	赤穂ノ浦遺跡出土銅鐸鋳型他	0	4	0	4	20160428	書籍に掲載
56	A	荒神谷博物館	今宿五郎江遺跡第2次調査出土小銅鐸他	24	0	0	24	20160518	特別展に展示
57	A	個人	野間B遺跡出土石剣未成品他	139	0	0	139	20160525	大学での授業に使用
58	B	荒神谷博物館	井尻B遺跡第17次調査出土小銅鐸他	0	7	0	7	20160531	特別展図録等に掲載
59	A	福岡市博物館	大原D遺跡出土刺突文土器他	64	0	0	64	20160608	企画展に展示
60	D	愛媛大学 大学連携 e-Learning 教育支援センター-四国 愛媛分室	吉武高木遺跡3号木棺墓出土青銅器集合	0	1	0	1	20160614	eラーニングコンテンツに使用

※ A：遺物貸出、B：写真貸出、C：その他の貸出、D：図面・写真等の使用、E：遺物撮影

件数	区分	申請者	資料名	点数				許可日 (貸出日)	備考
				遺物	写真	他	計		
61	D	大分県教育庁埋蔵文化財センター	博多遺跡群第111次調査出土メダイ鋳型	0	1	0	1	20160614	冊子に掲載
62	B	株式会社吉川弘文館	板付遺跡出土夜白式土器他	0	2	0	2	20160615	書籍に掲載
63	D	有限会社オフィス・イデオム	板付遺跡 石砲丁	0	1	0	1	20160617	書籍に掲載
64	E	播磨町郷土資料館	西新町遺跡出土イダコ壺他	110	0	0	110	20160617	特別展図録等に掲載
65	A	個人	那珂遺跡群第21次調査出土丹塗り壺他	7	0	0	7	20160618	大学講義に使用
66	D	有限会社アート・エフ	拾六町ツイジ遺跡出土竪杵	0	1	0	1	20160621	書籍に掲載
67	B	荒神谷博物館	比恵遺跡群第125次調査出土小銅鐸	0	1	0	1	20160630	特別展図録等に掲載
68	D	株式会社デアゴスティーニ・ジャパン	野多目A遺跡第4次調査調査区北半	0	1	0	1	20160630	書籍に掲載
69	E	個人	堅粕遺跡第8次調査出土石製模造品他	15	0	0	15	20160701	論文に掲載
70	D	個人	堅粕遺跡第8次調査出土石製模造品他	0	15	0	15	20160701	論文に掲載
71	B	出雲市長	博多遺跡群第62次調査出土龍泉窯系青磁碗他	0	8	0	8	20160705	企画展に展示
72	A	個人	笠拔遺跡出土銅矛中子他	13	0	0	13	20160707	大学講義に使用
73	D	(株)新泉社	板付I式土器セット	0	1	0	1	20160708	書籍に掲載
74	D	太宰府市文化ふれあい館	比恵遺跡群第8次調査倉庫群	0	1	0	1	20160708	展示に使用
75	D	太宰府市文化ふれあい館	比恵遺跡群第8次調査倉庫群	0	1	0	1	20160708	ポスター・チラシ等に掲載
76	D	金城学園大学講師	雀居遺跡第13次調査 発掘区全景	0	1	0	1	20160713	書籍に掲載
77	B	株式会社第一学習社	板付I式土器集合	0	1	0	1	20160713	高校世界史副教材に掲載
78	B	株式会社エスオーダブリュ	板付遺跡 水田跡調査状況他	0	11	0	11	20160713	テレビ番組に使用
79	B	西南学院大学博物館	博多遺跡群第28次調査出土土製型他	0	4	0	4	20160715	企画展パネルに掲載
80	B	株式会社エスオーダブリュ	板付遺跡 環濠全景他	0	2	0	2	20160719	テレビ番組に使用
81	B	一般財団法人日本考古学協会	博多遺跡群出土花卉文軒丸瓦他	0	4	0	4	20160721	ポスターに使用
82	A	個人	西新町遺跡第2次調査出土イダコ壺他	10	0	0	10	20160723	出前講座に使用
83	A・B	九州国立博物館	老司古墳出土 勾玉・管玉他	6	3	0	9	20160723	特別展に展示・掲載
84	B	株式会社長崎文献社	博多遺跡群第111次調査出土メダイ・鋳型	0	1	0	1	20160728	書籍に掲載
85	A	福岡市博物館	博多遺跡群第111次調査出土メダイ・鋳型	2	0	0	2	20160810	常設展示
86	B	一般財団法人西日本文化協会	夜白式土器	0	1	0	1	20160816	書籍に掲載
87	A	宮崎県立西都原考古博物館	梅林古墳出土陶質土器高坏他	7	0	0	7	20160816	国際交流展に展示
88	B	株式会社第一学習社	鴻臚館跡第3次調査出土越州窯系青磁碗	0	1	0	1	20160816	世界史副教材に掲載
89	A	博物館学芸課	那珂遺跡群第22次調査出土軒丸瓦他	22	0	0	22	20160817	企画展示室に展示
90	A	九州国立博物館	博多遺跡群第4次調査出土白磁碗他	28	0	0	28	20160824	文化交流展示室に展示
91	A・B	沖縄県立博物館・美術館	有田遺跡群第6次調査出土剥片尖頭器他	5	2	9	16	20160825	特別展に展示・図録等への掲載
92	A	博物館学芸課	京の隈遺跡第1次調査出土経筒他	14	0	0	14	20160826	企画展示室に展示
93	C	国史跡吉武高木遺跡保存会	土器バズル他	0	0	6	6	20160826	弥生の風公園開園3周年記念行事に使用
94	E	株式会社 NHK エデュケーショナル	展示室展示資料一括	1	0	0	1	20160826	放送大学番組制作に使用
95	E	伊都国歴史博物館	那珂八幡古墳出土ヒスイ製勾玉他	22	0	0	22	20160829	特別展に使用
96	B	公益財団法人唐津市文化事業団	那珂若休遺跡第7次調査水田跡他	0	6	0	6	20160908	企画展に使用
97	B	株式会社雄山閣	西新町遺跡第5次調査出土板状鉄斧	0	1	0	1	20160908	書籍に掲載
98	E	株式会社エスオーダブリュ	鋤崎古墳墳丘模型他	4	0	3	7	20160908	テレビ番組に使用
99	A・B	静岡市立登呂博物館	板付遺跡第31次調査検出足跡模型他	6	7	0	13	20160908	特別展に展示・掲載
100	A	大和文華館	鴻臚館跡第5次調査出土越州窯系青磁水注他	7	7	9	23	20160909	特別展に展示・図録に掲載
101	A・B	釜山市福泉博物館	比恵遺跡群第6次調査出土弥生土器壺他	72	105	2	179	20160917	国際交流展に展示・掲載
102	A	奈良県立橿原考古学研究所	拾六町ヒラタ遺跡第2次調査出土炭化稲穂他	32	0	0	32	20160927	X線CTスキャンによる調査
103	D	奈良文化財研究所	板付遺跡遺構図他	0	8	0	8	20160929	ドイツ語版カタログの英語版刊行のため
104	B	朝日新聞社	博多遺跡群 井戸検出状況他	0	5	0	5	20160929	新聞に掲載
105	B	有限会社山平商会	板付遺跡出土板付I式土器集合写真	0	1	0	1	20160929	日本史B教材に掲載
106	B	株式会社エスオーダブリュ	丸隈山古墳出土土鳥形埴輪他	0	6	0	6	20161005	テレビ番組制作
107	B	(株)新泉社	赤穂ノ浦遺跡出土銅鐸鋳型他	0	2	0	2	20161005	書籍に掲載
108	D	広島大学 情報メディア教育研究センター	吉武高木遺跡 木棺墓群検出状況	0	1	0	1	20161005	授業のインターネット配信のため
109	D	明治図書出版株式会社	板付遺跡 石砲丁	0	1	0	1	20161005	学力検査問題文参考資料
110	B	伊都国歴史博物館	那珂八幡古墳出土三角縁神獣鏡他	0	5	0	5	20161006	特別展に使用
111	B	一般財団法人 角川文化振興財団	板付遺跡発掘調査風景	0	1	0	1	20161013	書籍に掲載
112	A	福岡市博物館学芸課	多々良込田遺跡第6次調査出土円鏡他	25	0	0	25	20161019	企画展に展示
113	B	尼崎市立田能資料館	比恵遺跡群第87次調査出土ガラス加工具他	0	2	0	2	20161027	特別展パネル等に使用
114	B	株式会社 同成社	大原D遺跡検出焼土竪穴住居	0	1	0	1	20161027	書籍に掲載
115	C	福岡市文化財保護課	火起こし道具	0	0	5	5	20161028	イベントに使用
116	D	南区企画振興課	老司瓦窯跡	0	1	0	1	20161102	市政だよりに掲載
117	A・B	北九州市立自然史・歴史博物館	元岡G6号墳出土庚寅銘大刀ほか	1	2	1	4	20161102	特別展に展示・チラシ等に掲載
118	B	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	金隈遺跡甕棺墓	0	1	0	1	20161104	書籍に掲載
119	B	株式会社 平凡社	老司古墳出土翡翠製勾玉	0	1	0	1	20161109	書籍に掲載
120	D	有限会社 海鳥社	西油山天福寺跡出土薩摩塔	0	1	0	1	20161109	書籍に掲載

※ A：遺物貸出、B：写真貸出、C：その他の貸出、D：図面・写真等の使用、E：遺物撮影

件数	区分	申請者	資料名	点数				許可日 (貸出日)	備考
				遺物	写真	他	計		
121	D	北國新聞出版局	博多遺跡群第111次調査出土メダイ鋳型	0	1	0	1	20161111	書籍に掲載
122	B	株式会社明石書店	藤崎遺跡第2次調査出土土甕棺	0	1	0	1	20161118	書籍に掲載
123	A	個人	博多遺跡群第172次調査出土ガラス容器片	2	0	0	2	20161119	非破壊蛍光X線分析のため
124	D	株式会社帝国書院	木製品復元品	0	1	0	1	20161119	テスト問題例に使用
125	D	株式会社フォト・オリジナル	板付遺跡出土石庖丁	0	1	0	1	20161122	教材に掲載
126	D	国立歴史民俗博物館	雀居遺跡出土弥生土器	0	1	0	1	20161125	パンフレットに掲載
127	B	西日本リビング新聞社	博多遺跡群出土陶磁器製ミニチュア人形	0	1	0	1	20161127	新聞記事に掲載
128	D	株式会社悠工房	石庖丁ほか	0	2	0	2	20161201	書籍に掲載
129	B	北九州市立自然史・歴史博物館	元岡古墳群G群全景ほか	0	4	0	4	20161206	特別展展示等に使用
130	B	株式会社雄山閣	板付遺跡出土板付I式土器	0	1	0	1	20161217	書籍に掲載
131	B	個人	鍛復元品他	0	6	0	6	20161222	書籍に掲載
132	A・C	文化センター高取	東入部遺跡第2次調査出土弥生土器甕他	45	0	6	51	20161222	文化センター高取館内に展示
133	D	個人	博多遺跡群第60次調査出土青花皿	0	1	0	1	20170104	書籍に掲載
134	A	福岡市博物館学芸課	井尻B遺跡第6次調査出土銅鏡鋳型他	40	0	0	40	20170105	企画展に展示
135	E	株式会社エスオーダブリュ	白磁皿他	8	0	1	9	20170106	テレビ番組制作
136	A	福岡市博物館学芸課	博多遺跡群第22次調査出土草花文軒丸瓦	1	0	0	1	20170107	常設展示
137	A	個人	博多遺跡群第60次調査出土埴埴他	3	0	0	3	20170110	中世末における非鉄金属生産技術解明のための調査研究
138	D	大阪大学出版会	西新町遺跡第5次調査 SC06出土資料他	0	0	16	16	20170112	書籍に掲載
139	D	株式会社河合出版	拾六町ツイジ遺跡出土竪杵	0	1	0	1	20170112	問題集に掲載
140	D	個人	報告書『吉武遺跡群 XVII』Fig.8他	0	0	8	8	20170117	研究論文に掲載
141	B	株式会社エスオーダブリュ	博多遺跡群築港線第3次調査区全景他	0	4	0	4	20170124	テレビ番組制作
142	A	個人	博多遺跡群第6次調査出土白磁碗他	56	0	0	56	20170125	胎土分析に使用
143	D	東京法令株式会社	拾六町ツイジ遺跡出土木製鋤他	0	4	0	4	20170127	高校生向け教材に使用
144	B	株式会社グレイル	朝鮮系無文土器	0	1	0	1	20170131	書籍に掲載
145	D	株式会社郁朋社	元岡古墳群 G-6号墳出土庚寅銘大刀	0	2	0	2	20170131	書籍に掲載
146	D	株式会社ベストセラーズ	吉武高木遺跡出土青銅器類	0	1	0	1	20170201	書籍に掲載
147	B	今津公民館	大原D遺跡全景他	0	8	0	8	20170201	年表およびガイド本の作成
148	B	埼玉県立さきたま史跡の博物館	板付I式土器集合写真	0	1	0	1	20170210	テーマ展に使用
149	B	株式会社朝倉書店	比恵遺跡群第51次調査出土鋳造鉄斧	0	1	0	1	20170222	書籍に掲載
150	B	朝倉市教育委員会	博多遺跡群第111次調査出土メダイ他	0	3	0	3	20170301	常設展示
151	D	宜野湾市立博物館	金隈遺跡出土ゴホウラ製貝輪	0	4	0	4	20170301	常設展示
152	D	東京書籍株式会社	板付遺跡出土弥生土器	0	1	0	1	20170301	小学校社会学習教材に使用
153	B	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	元岡・桑原遺跡群第42次調査出土琴板	0	4	0	4	20170303	春季特別展に使用
154	B	九州歴史資料館	吉武高木遺跡第3号木棺墓出土銅剣・銅戈・銅矛	0	1	0	1	20170309	リーフレットに掲載
155	D	株式会社朝倉書店	雑餉隈遺跡第15次調査出土小壺・磨製石剣・磨製石鏃集合	0	1	0	1	20170311	書籍に掲載
156	B	株式会社知楽	吉武高木遺跡出土青銅器・玉類集合他	0	2	0	2	20170316	書籍に掲載
157	A・B	博物館学芸課	大塚遺跡第11次調査出土環状石斧他	61	3	0	64	20170317	企画展に展示・使用
158	D	一般社団法人学士会	整備された板付遺跡の環濠部分他	0	3	0	3	20170317	会報誌に掲載
159	B	個人	鴻臚館跡出土越州窯系青磁花文碗他	0	5	0	5	20170319	冊子に掲載
160	D	個人	吉武S9号墳出土龍鳳環頭大刀	0	1	0	1	20170319	書籍に掲載
161	D	(株)筑摩書房	吉武高木遺跡出土玉類・青銅製武器・鏡集合	0	1	0	1	20170323	書籍に掲載
162	B	大阪府立弥生文化博物館	雀居遺跡第4次調査出土組合せ式案	0	1	0	1	20170323	記念事業記録集に掲載
163	D	博多湾岸《金印ロード》資源活用プロジェクト実行委員会	野多目遺跡出土粗製土器浅鉢他	0	38	0	38	20170331	ガイドブックに掲載
164	C	博物館事業管理部市史編さん室	博多遺跡群第26次調査図面他	0	0	7	7	20170331	『市史研究ふくおか』製版作業に使用
				3307	368	91	3766		

※ A：遺物貸出、B：写真貸出、C：その他の貸出、D：図面・写真等の使用、E：遺物撮影

4. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和44(1969)年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和57(1982)年、福岡市埋蔵文化財センター(以下、センターと呼ぶ)が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は経済観光文化局文化財部(組織はIV-1参照)で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている(発掘業務は行っていない)。発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和60(1985)年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」(『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号1985所収)を策定した。この要項はその後実状にあわせ細部を改変したものの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、毎年多くの資料が活用されている。

(2) 平成28年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後、要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの(収蔵区分に埋文課等と表記)と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうえ収蔵したもの(収蔵区分にセンターと表記)とに区分される。その他に寄贈資料や採集資料も登録して収めている。

平成28年度までにセンターに本収蔵されたのは2,008遺跡(追加収蔵、寄贈受入まで含めた収蔵数は2,645件)で、その内訳は登録遺物1,298,065点、甕棺1,775個、コンテナ123,477箱、ネガフィルム386,995点、スライドフィルム538,963点、図面類193,898枚、写真カード218,822枚となっている。平成28年度までの市内での発掘調査は2,527件であり、全体の約79%が本収蔵され、検索が可能となった。

平成28年度の本収蔵は、埋文課等から搬入・収蔵されたもの76遺跡、センターで収蔵したものの80遺跡のあわせて156遺跡(新規収蔵73遺跡、追加収蔵81遺跡、寄贈等2遺跡)である。主な収蔵品は遺物がコンテナ2,909箱と甕棺120個(コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする)、写真類が32,733点、図面類が6,703点、写真カードが7,626枚である。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納している。また、写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録類収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へ納めた。

(3) 収蔵棚増設

発掘調査によって増え続ける遺物の収蔵・管理も大きな課題の一つである。本収蔵と仮収蔵を合わせると、年間平均でコンテナケース5,000箱が当センターへ搬入されるが、その収蔵・管理のための場所の確保と収蔵棚の設置は予算削減の中、苦慮しているところである。平成28年度は収蔵棚30連(棚8段)を購入した。

本収蔵数一覧(1986～2016年度)

年度	収蔵区分	新規 遺跡数	追加 遺跡数	寄贈・採集 受入件数	登録 遺物 点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル 写真 (枚)	図面(枚)		写真 カード (枚)
						喪棺 (個)	コンテナ (箱)	35mm (本)	6×7 (枚)	4×5 (枚)	35mm (枚)	6×7 (枚)	4×5 (枚)		遺構	遺物	
1986	埋文課	4	0	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0		352	239	781
	センター	14	0	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96		617	512	1,564
	年度合計	18	0	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	0	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0		994	1,223	2,744
	センター	9	0	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2		427	290	1,630
	年度合計	21	0	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	0	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	0	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	0	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	0	16,073	8	1,111	231	7,507	99	4,634	966	63	0	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	0	22,774	8	1,979	386	11,066	191	7,540	966	63	0	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	0	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	0	723	955	1,924
	年度合計	90	0	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	0	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	0	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	0	666	865	1,856
	年度合計	63	0	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	0	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	0	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	0	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	0	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	0	558	985	1,950
	年度合計	87	6	0	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	0	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	0	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	0	308	156	654
	年度合計	58	0	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	0	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	0	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	0	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	0	560	427	985
	年度合計	49	1	0	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	0	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	0	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	0	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	0	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	0	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	0	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	0	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	0	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	0	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	0	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	0	4,715	4,464	12,001
1999	埋文課	109	2	0	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	0	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	0	87	88	455
	年度合計	112	2	0	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	0	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	0	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	0	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	0	897	299	337
	年度合計	86	5	0	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	0	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	0	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	0	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	0	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	0	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	0	3,328	3,969	7,253

年度	収蔵区分	新規 遺跡数	追加 遺跡数	発掘・探検 受入件数	登録 遺物 点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル 写真 (マ)	図面(枚)		写真 カード (枚)
						喪棺 (個)	コンテナ (箱)	35mm (本)	6×7 (マ)	4×5 (枚)	35mm (マ)	6×7 (マ)	4×5 (枚)		遺構	遺物	
2002	埋文課	50	6	0	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	0	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	0	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	0	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	0	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	0	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	0	2,178	16	165	96	2,598	0	1,980	52	0	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	0	63,829	82	7,521	851	18,096	665	16,766	6,054	483	0	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	0	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	0	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	0	439	183	1,251
	年度合計	61	2	0	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	0	3,148	2,825	6,720
2005	埋文課	70	2	0	59,235	16	4,276	620	10,065	277	13,796	4,589	133	0	2,924	3,422	7,092
	センター	24	0	0	4,208	5	537	385	458	11	4,410	48	6	0	481	672	859
	年度合計	94	2	0	63,443	21	4,813	1,005	10,523	288	18,206	4,637	139	0	3,405	4,094	7,951
2006	埋文課	64	2	0	44,627	45	4,006	743	10,171	8	15,269	4,936	63	0	2,965	3,419	6,906
	センター	27	2	0	3,885	6	632	212	325	359	2,456	20	0	0	906	545	805
	年度合計	91	4	0	48,512	51	4,638	955	10,496	367	17,725	4,956	63	0	3,871	3,964	7,711
2007	埋文課	94	7	0	66,886	10	5,634	1,089	17,247	0	17,808	8,902	16	0	5,889	3,220	10,426
	センター	10	6	0	8,285	59	924	140	879	17	1,970	315	0	0	333	292	828
	年度合計	104	13	0	75,171	69	6,558	1,229	18,126	17	19,778	9,217	16	0	6,222	3,512	11,254
2008	埋文課	85	4	0	32,750	27	2,746	489	7,555	8	10,272	2,343	107	0	2,327	2,876	4,433
	センター	16	3	0	1,685	0	318	114	361	0	1,604	119	0	0	172	130	375
	年度合計	101	7	0	34,435	27	3,064	603	7,916	8	11,876	2,462	107	0	2,499	3,006	4,808
2009	埋文課	74	2	0	111,020	32	3,880	656	9,041	65	15,158	4,796	58	1,707	2,330	4,451	6,355
	センター	18	2	0	6,002	5	1,028	32	303	20	683	105	48	0	116	449	211
	年度合計	92	4	0	117,022	37	4,908	688	9,344	85	15,841	4,901	106	1,707	2,446	4,900	6,566
2010	埋文課	69	3	0	55,695	2	5,901	604	4,270	0	1,824	11,369	0	6,290	2,773	3,428	3,433
	センター	14	13	7	1,853	0	205	37	836	0	239	2,709	276	0	171	191	663
	年度合計	83	16	7	57,548	2	6,106	641	5,106	0	2,063	14,078	276	6,290	2,944	3,619	4,096
2011	埋文課	19	8	0	20,903	3	2,246	169	2,242	0	2,975	1,324	9	1,152	717	900	1,460
	センター	12	29	0	2,360	42	239	119	680	24	1,196	410	24	51	297	228	708
	年度合計	31	37	0	23,263	45	2,485	288	2,922	24	4,171	1,734	33	1,203	1,014	1,128	2,168
2012	埋文課	45	21	0	24,199	27	2,570	358	3,836	8	7,738	3,095	25	6,782	2,176	2,140	3,363
	センター	3	59	4	8,686	5	518	93	1,023	220	1,950	765	0	0	449	287	760
	年度合計	48	80	4	32,885	32	3,088	451	4,859	228	9,688	3,860	25	6,782	2,625	2,427	4,123
2013	埋文課	40	2	0	20,971	7	1,426	242	3,357	70	6,240	2,225	70	5,229	1,411	1,205	2,154
	センター	5	110	5	7,051	3	702	265	2,643	45	3,837	306	5	2,289	557	238	1,290
	年度合計	45	112	5	28,022	10	2,128	507	6,000	115	10,077	2,531	75	7,518	1,968	1,443	3,444
2014	埋文課	50	12	0	30,517	26	2,987	347	6,916	26	6,844	3,918	59	5,445	1,828	3,617	4,238
	センター	6	65	3	8,735	8	631	69	566	14	1,162	384	14	0	564	411	609
	年度合計	56	77	3	39,252	34	3,618	416	7,482	40	8,006	4,302	73	5,445	2,392	4,028	4,847
2015	埋文課	33	1	0	18,857	19	1,654	336	2,688	11	6,490	2,155	15	4,906	1,142	1,104	1,891
	センター	12	111	34	2,934	-1	298	100	118	91	1,410	292	6	0	122	177	274
	年度合計	45	112	34	21,791	18	1,952	436	2,806	102	7,900	2,447	21	4,906	1,264	1,281	2,165
2016	埋文課	68	8	0	43,851	122	2,696	686	9,477	132	15,869	4,130	176	7,173	3,304	3,218	7,045
	センター	5	73	2	1,825	-2	213	99	768	0	798	598	0	8	114	67	581
	年度合計	73	81	2	45,676	120	2,909	785	10,245	132	16,667	4,728	176	7,181	3,418	3,285	7,626
計	埋文課	1,674	99	0	1,143,971	1,331	105,433	19,353	305,236	3,866	339,501	113,168	2,193	38,684	80,865	86,006	184,402
	センター	334	483	55	154,094	444	18,044	5,759	49,127	3,654	73,993	9,533	575	2,348	13,331	13,696	34,420
	総計	2,008	582	55	1,298,065	1,775	123,477	25,112	354,363	7,520	413,494	122,701	2,768	41,032	94,196	99,702	218,822

平成28(2016)年度本収蔵一覧(寄贈・追加収蔵含む)

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	回数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物			ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル写真(コマ)	図面		写真カード	調査担当者
							裏箱数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(枚)	4×5(枚)	35mm(枚)	6×7(枚)	4×5(枚)	遺構		遺物			
201601	センター	9207	比恵遺跡群	40	368							7							田中寿夫	
201602	埋文課	1423	大橋E遺跡	12	年報Vol.29	27		1	1					96	6	1	2	山崎龍雄		
201603	埋文課	1429	雑餉隈遺跡	19	1282	87	5	3	20			66	12	103	5	9	20	山崎龍雄		
201604	センター	8046	金隈遺跡	3	123		2											折尾学		
201605	センター	7102	板付遺跡	6	35															
201606	センター	0635	羽根戸原B遺跡	2	年報Vol.21	2		1								1		上角智希		
201607	センター	0624	梅林遺跡	8	年報Vol.21	5		1								6		上角智希		
201608	センター	0756	中ノ原遺跡	2	年報Vol.22	10		2								1		上角智希		
201609	センター	8416	吉武遺跡群	6	965	3		2										横山邦継		
201610	センター	8658	老司古墳	4	209・9023	11												山口・吉留		
201611	センター	7821	有田遺跡群	7	81	5												井澤洋一		
201612	センター	7932	博多遺跡群	6	126	1												折尾・池崎		
201613	センター	8733	那珂遺跡群	12	291	1												山口謙治		
201614	センター	9221	比恵遺跡群	42	368	901		75	17	194			311	199		32	60	126	田中寿夫	
201615	センター	8829	福岡城跡	10	270・355・1175・1213・1248														池崎・吉武	
201616	センター	0340	元岡・桑原遺跡群	35	909				-29			-10						7	菅波正人	
201617	埋文課	0142	那珂遺跡群	82	1154	158		9	3	44			38	44		10	20	28	長家伸	
201618	埋文課	0905	松木田遺跡	4	1204	3,062		46	59	771	48	1,570	293	62	446	143	162	504	長家伸	
201619	埋文課	0905	松木田遺跡	4	1241	1,223	53	112								104	148		長家伸	
201620	埋文課	0905	松木田遺跡	4	1204	30		1	5	48			141	48		301	4	1	32	加藤隆也
201621	埋文課	1045	堅粕遺跡	11	年報Vol.25	31		1	2				37			7	2	3	長家伸	
201622	埋文課	1336	野井遺跡	16	1263	138		4	3	64			56	58		1	17	10	34	阿部泰之
201623	埋文課	1330	那珂遺跡群	147	1262	132		11	2	30			26	28		1	13	26	16	阿部泰之
201624	埋文課	1212	金武古墳群	8	1280	301		9									37	34		阿部泰之
201625	埋文課	1324	博多遺跡群	198	1270	408		24	1	56			74	60		268	31	28	33	吉田大輔
201626	埋文課	1411	比恵遺跡群	132	1294	337		26	4	49			150	49		66	27	22	32	吉田大輔
201627	埋文課	1428	高畑遺跡	21	1284	422		51	7	54			186	54		341	45	56	41	吉田大輔
201628	欠番																			
201629	センター	8403	戸原麦尾遺跡	1	189 217	1												2		田中・荒牧
201630	寄贈	☎055	比恵遺跡保存会館資料			10		2												
201631	センター	9259	博多遺跡群	79	447	1														大庭康時
201632	寄贈	☎054	原康彦氏寄贈資料			1														
201633	埋文課	0851	浦田水ヶ元遺跡	3	1147	2,432	8	184	29	1,588			705	104		1	154	128	857	加藤良彦
201634	埋文課	9760	斜ヶ浦瓦窯跡	3	1233	408		24	8	150			153	60		45	30	148	84	加藤良彦
201635	埋文課	0767	野間B遺跡	4	1264	51		3	4	44			44	20			6	4	29	加藤良彦
201636	埋文課	1406	那珂遺跡群	150	1286	71		2	1	10			24			4	7	2	7	大塚紀宜
201637	埋文課	1409	那珂遺跡群	151	1286	314		4	5	36			86			16	11	9	25	大塚紀宜
201638	埋文課	1410	那珂遺跡群	152	1286	207		5	3	20			38			8	12	4	12	大塚紀宜
201639	埋文課	1420	那珂遺跡群	153	1286	74		5	2	8			36			7	7	7	7	大塚紀宜
201640	埋文課	1421	那珂遺跡群	154	1286	801	8	58	7	50			172			71	37	100	39	大塚紀宜
201641	埋文課	1309	井尻B遺跡	39	年報Vol.28	5		1	1	10			9	9				4	4	清金良太
201642	埋文課	1315	元岡・桑原遺跡群	61	1275	104		16	2	28			26	40		16	6	6	15	清金良太
201643	埋文課	1302	比恵遺跡群	128	1273	135		25	1	15			24	15		23	5	9	9	清金良太
201644	埋文課	8101	大塚遺跡	3	490	184		24	7											折尾学
201645	埋文課	1126	原遺跡	28	1199・1236	2,526		60	21	286				299		264	63	98	184	屋山洋
201646	埋文課	1201	博多遺跡群	193	1235	659		18	5	40				31		112	16	18	30	屋山洋
201647	埋文課	1320	那珂遺跡群	146	年報Vol.28	6		1	2	16				16		23	7		11	屋山洋
201648	埋文課	1321	比恵遺跡群	129	1272	52		1	1	26				30		22	9	2	15	屋山洋
201649	センター	8605	博多遺跡群	30	149								2							常松・加藤
201650	センター	1201	博多遺跡群	193	1235	58		3							8	3	2			今井隆博
201651	センター	8509	博多遺跡群	29	148	7														常松幹雄
201652	埋文課	0013	有田遺跡群	197	年報Vol.15	12		1	1				30				3		2	常松幹雄
201653	埋文課	9114	雀居遺跡	1	322	43		6					237							常松幹雄
201654	センター	8606	博多遺跡群	31	150					18				34						常松幹雄
201655	埋文課	1339	博多遺跡群	200	1290	2,146		136	14	106			413	90		96	70	135	88	山崎龍雄
201656	センター	8327	博多遺跡群	22	118	7														杉山富雄
201657	センター	8643	脇山A遺跡	1	236				1										1	常松幹雄
201658	センター	8324	博多遺跡群	24	118	7														柳沢・杉山
201659	センター	7701	久保園遺跡	1	91								16							力武卓治
201660	センター	8334	博多遺跡群	23	491	2														折尾学
201661	センター	9165	東入部遺跡	2										13						濱石・長家
201662	センター	7801	三筑遺跡	1	69								32							山崎純男
201663	センター	9516	有田遺跡群	178	512				20	384			398	332					232	白井克也
201664	センター	7602	今山遺跡	3	75	44														折尾学
201665	センター	9366	警弥郷B遺跡	3	414	3		1												白井克也
201666	センター	9344	博多遺跡群	83	503	1														杉山富雄
201667	センター	7601	今宿遺跡	2	75	1														折尾学
201668	センター	7508	板付遺跡	14	36	1														後藤直
201669	センター	7410	諸岡B遺跡	3・4・5	31	1														後藤直
201670	センター	6911	大牟田古墳群	1	10060	1														三島各
201671	センター	7725	博多遺跡群	1a	105・126	3														折尾・池崎
201672	センター	8936	那珂遺跡群	23	254・290			-3												下村・荒牧
201673	センター	7952	今山遺跡	5	10033	8														下條信行
201674	センター	0705	博多遺跡群	172	1086	4														池崎・本田
201675	センター	7834	中尾遺跡	1	109	4														飛高・力武
201676	センター	7320	草場古墳群	2	1104		-2	2												松村道博
201677	センター	1313	博多遺跡群	196	1268	12														吉武学
201678	センター	0758	名子遺跡	3	1123	2														今井隆博
201679	埋文課	0752	大橋E遺跡	11	1071	2		1	2	24			26	52			20		16	小林義彦
201680	埋文課	9250	伊都区画整理試掘		8007	42		3	14				302				51		28	小林義彦

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	次数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			デジタル写真(コマ)	図面		写真カード	調査担当者	
							農箱数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(枚)	4×5(枚)	35mm(枚)	6×7(枚)	4×5(枚)		遺構	遺物			
201681	センター	1012	立花寺遺跡	8	1211	2													小林義彦	
201682	センター	7905	徳永古墳群	2	56	28		-1		4									田中寿夫	
201683	センター	8202	鋤崎古墳	1	730	8		3											柳沢・杉山	
201684	センター	7802	田村遺跡	1	117												2		力武・横山	
201685	センター	0827	久保園遺跡	4	1148	-397													比嘉えりか	
201686	センター	7939	天神森遺跡	1	76					12								4	飛高・力武	
201687	センター	7938	下月隈B遺跡	1	61・76					5								2	飛高・力武	
201688	センター	9313	和田B遺跡	1	413	41		27											吉留秀敏	
201689	センター	8322	金武城田遺跡	1	186					1			20					1	二宮忠司	
201690	埋文課	1335	那珂遺跡群	148	1286	55		3	3	29		103	38		9	11	1	22	小林義彦	
201691	埋文課	1424	山王遺跡	8	1283	31	1	6	5	28		151	24		35	14	6	23	小林義彦	
201692	センター	9836	博多遺跡群	111	711	102		61											井上蘭子	
201693	埋文課	1422	比恵遺跡群	134	1296	1181	2	92	6	384		143	30		197	35	95	197	加藤良彦	
201694	埋文課	1412	井相田C遺跡	13	1277	591		28	6	102		183	33		109	29	23	58	中尾祐太	
201695	センター	8428	原遺跡	9	140	2													井澤洋一	
201696	センター	0833	高畑遺跡	20	1150	2													小林義彦	
201697	センター	0851	蒲田水ヶ元遺跡	3	1147	2		2											加藤良彦	
201698	埋文課	0613	井尻B遺跡	25	1251	517		8	5	6		120				27	24	13	久住猛雄	
201699	埋文課	0626	箱崎遺跡	52	997	3,286		39	22	152		460	33		50	49	93	120	久住猛雄	
2016100	埋文課	0849	井尻B遺跡	32	1251	525		6	14	28		221	6		383	42	29	60	久住猛雄	
2016101	埋文課	9946	元岡・桑原遺跡群	18	1063・1102・1172・1246・1302	9,876		803	59	1,418		1,850	1,423		279	516	788	825	吉留秀敏	
2016102	センター	1021	卯内尺古墳群	2	1142	2		2											小林義彦	
2016103	センター	9559	博多遺跡群	96	605											19			小林義彦	
2016104	センター	9505	博多遺跡群	89	556											8			小林義彦	
2016105	センター	9923	元岡・桑原遺跡群	15	860											1			吉留秀敏	
2016106	センター	7830	有田遺跡群	16	870	4		1											力武卓治	
2016107	センター	7829	有田遺跡群	15	971	1													力武卓治	
2016108	センター	7828	有田遺跡群	14	870	1													力武卓治	
2016109	センター	6904	宝台遺跡	1	10009			1											高倉・沢	
2016110	センター	7616	大原B遺跡	1	541	1		1											力武卓治	
2016111	センター	7505	原遺跡	1	492	26													折尾学	
2016112	センター	7721	藤崎遺跡	2	496	2													井澤洋一	
2016113	センター	8133	有田遺跡群	62	95	844		22											飛高・松村	
2016114	センター	7213	かけ塚遺跡	1	33	8		1											飛高・力武	
2016115	センター	7504	有田遺跡群	3	155			1											井澤洋一	
2016116	センター	7832	原遺跡	2	544	14													柳田純孝	
2016117	センター	7514	蒲田水ヶ元遺跡	1	491			1											折尾学	
2016118	欠番																			
2016119	埋文課	1005	五十川遺跡	19	年報Vol.25	43		1	1	18			10		30	2		11	屋山洋	
2016120	埋文課	1023	比恵遺跡群	122	1170	42		2	2	26			20		55	3	6	16	屋山洋	
2016121	埋文課	1338	比恵遺跡群	130	1292	586		51	4	40			40		130	14	85	28	屋山洋	
2016122	埋文課	9534	原遺跡	18	年報Vol.10	3		1	1	16		20	16			5		9	大塚紀宜	
2016123	埋文課	9663	内野西圃場整備試掘		618	7		1	5			172						10	大塚紀宜	
2016124	埋文課	9669	内野遺跡	1	年報Vol.11	21		1	1			26				7		2	大塚紀宜	
2016125	埋文課	9672	飯倉H遺跡	2	年報Vol.11	21		1	1			14				4		2	大塚紀宜	
2016126	埋文課	9710	周船寺遺跡	9	年報Vol.12	62		1	2	17		48				7		12	大塚紀宜	
2016127	埋文課	9773	内野遺跡	2	653	76		1	10			233				12		20	大塚紀宜	
2016128	埋文課	9823	次郎丸遺跡	4	年報Vol.13	157		1	3	24		54				9	4	17	大塚紀宜	
2016129	埋文課	9826	内野遺跡	3	653	267		7	6	66		140				26	9	45	大塚紀宜	
2016130	埋文課	9850	中山・寺地遺跡試掘		年報Vol.13	17		1	7							11		14	大塚紀宜	
2016131	埋文課	9909	野方久保遺跡	5	691	234		13	7	42		138				13	13	35	大塚紀宜	
2016132	埋文課	9920	中山遺跡	1	687	1,065		21	33	318		782				157	28	223	大塚紀宜	
2016133	埋文課	9939	元寇防塁	8	726	25		2	8	62		201				24		47	大塚紀宜	
2016134	埋文課	9940	吉武遺跡群	15	年報Vol.14	36		1	2	6		46				4		7	大塚紀宜	
2016135	埋文課	0313	那珂遺跡群	88	1191	163		14	3			46				8	18	5	大塚紀宜	
2016136	埋文課	0324	比恵遺跡群	86	1188	28		4	2	14		32				7	3	9	大塚紀宜	
2016137	埋文課	0406	立花寺遺跡	7	年報Vol.19	47		1	2	12		26				6		8	大塚紀宜	
2016138	埋文課	0478	比恵遺跡群	96	年報Vol.19	27		2	2	14		34				4		9	大塚紀宜	
2016139	埋文課	0905	松木田遺跡	4	1242	388		33	6	32		131			47	20	28	27	大塚紀宜	
2016140	埋文課	1213	周船寺遺跡	21	年報Vol.27	100		3	2	20				24		8	4	14	大塚紀宜	
2016141	センター	1126	原遺跡	28	1199・1236	6		1											屋山洋	
2016142	センター	1221	博多遺跡群	194	1266	1													屋山洋	
2016143	センター	7801	三筑遺跡	1	69	4		1	39	179		2						145	山崎純男	
2016144	埋文課	0930	岸田遺跡	1	1257	2,736	41	258	53	847	36	1,416	214	42	819	300	260	505	長家伸	
2016145	埋文課	1510	下山門遺跡	2	1310	151		10	3	39		149	38		426	9	25	26	加藤隆也	
2016146	埋文課	1520	山王遺跡	10	1309	1,692		102	19	227		594	226		977	67	108	158	加藤隆也	
2016147	埋文課	1432	白杵端城跡	1	1278	124		11	4	39		108	14		147	15	10	28	山崎龍雄	
2016148	埋文課	1512	飯倉B遺跡	3	1306	103		10	3	24		59	12		116	9	12	17	山崎龍雄	
2016149	センター	8703	那珂遺跡群	9	598														山口謙治	
2016150	センター	0491	板付遺跡	70	年報Vol.19	3		1	2			40					4		吉留秀敏	
2016151	埋文課	1408	住吉神社遺跡	3	1311	1,817		102	13	296		351	261		851	45	229	176	瀧本正志	
2016152	埋文課	1434	井尻B遺跡	42	1307	52		2	2	16		47	16		17	7	3	12	小林義彦	
2016153	埋文課	1401	那珂遺跡群	149	1287	561		120	14	78		448	93		36	52	66	74	小林義彦	
2016154	埋文課	1436	弥永原遺跡	11	1324	479	9	54	24	156	48	733	145	72	105	143	59	123	小林義彦	
2016155	埋文課	9060	山ノ鼻2号墳	1	353	20		1											小林義彦	
2016156	埋文課	1021	卯内尺古墳群	2	1142	9		0											小林義彦	
2016157	埋文課	8401	唐原遺跡	1	161・207					101	1,288	1,921	26			616		1,831	小林義彦	
2016158	センター	9637	井相田D遺跡	2	610					20						38		63	井澤洋一	
小計						45.676		120	2,909	785	10,245	132	16,667	4,728	176	7,181	3,418	3,285	7,626	
								コンテナ計	4,349		N774計	11,162		P774計	21,571		図面計	6,703		

※農箱は1個、コンテナ12箱相当で計算

5. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和57年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの(主に対象となるのは木製品と金属製品)について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号(増築前)、18号(増築後)をそれぞれ参照されたい。

(2) 有機物(出土木製品)

1) 保存処理の概要

今年度処理を行ったのは14遺跡523点で、その内容は一覧表の通りである。この内、元岡・桑原42次の87点、久保園4次の33点、計120点は国庫補助事業によるものである。

処理方法は資料の大きさ、構造、樹種、劣化状態などの諸条件を基に、主に次の三つの方法から選択している。一つは、開館以来中心的に用いている、PEG-4000を用いた「PEG含浸法」、もう一つは人工合成糖類トレハロースを用いた「糖アルコール含浸法」、三つ目は大型の凍結乾燥機を用いた「真空凍結乾燥法」である。これらの方法にはそれぞれ一長一短あり、PEG法は



木製品保存処理工程(取り上げ、洗浄)

一般的な小、中型の木製品、糖アルコール法はPEG法では処理が困難な広葉樹芯持ち材、漆器や木簡類、或いは展示等活用のスケジュールに合わせ短期間で処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEG100%含浸では重量が嵩み取り扱いが困難な大型材や、変形を来す恐れのある広葉樹心持ち材というように使い分けている。

2) 保存処理の工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前写真の撮影、処理カードの作成といった共通作業の後、次のような工程で行っている。

● PEG含浸法

①資料の梱包・・・不織布で梱包し、メッシュのコンテナ等に納める。

②PEG含浸・・・専用の含浸装置に資料を入れ、注水、加熱(60℃)。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。濃度は1週間に一度溶液を採取して、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。約9ヶ月で100%まで濃度を上げる。

③遺物の取り上げ～洗浄、乾燥(PEGの固化)・・・溶液から取り出し後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥。

④処理後の点検作業・・・変形、破損の有無を点検し、処理カードに記入。

⑤脱色及び表面処理・・・湯煎したアルコールによる表面洗浄。

⑥修復・・・エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元。

●糖アルコール法

①溶液の準備・・・ステンレス製の深型バットにトレハロースを水で溶解。初期濃度は30%程度。恒温乾燥機を80℃に設定し、加熱。

②トレハロースの含浸置換・・・資料を溶液に入れ、徐々に高濃度の溶液と入れ替えることで濃

度の上昇を図る。70℃で限界濃度(70%程度)まで含浸させる。期間は小型資料で10日～2週間程度。

③結晶化・・・資料を溶液から取り出し、送風機によって風を当てて糖の結晶化を図る。

④洗浄・・・表面に固着しているトレハロースの結晶を、スチーム洗浄機を用いて洗浄。

この他、真空凍結乾燥機も備えているが、平成28年度に処理は実施していない。

なお処理の完了した資料は全て埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

3) 保存処理資料の紹介

平成28年度に保存処理を行った資料の中で注目すべき資料は、昨年度に引き続き元岡・桑原42次調査の弥生時代の木製品である。発掘調査の概要は昨年度も記しているので割愛する。

農具は完全な形の資料は無いものの、鋤、鋤の刃部、部材等がある(写真1)。また杓子の類も部分的な残存ながら、今年度も10点程度含まれる。良好な残存状態の未製品もあり(写真

2)、これらがこの地で製作されていたことの傍証となる。

写真3は削り物の箱形容器である。非常に精緻な作りの身と蓋がセットになった資料も含まれており、特別な品を納めていた可能性が考えられる。市内はおろか、全国的に見ても類例は限られる。対外交流によってもたらされた可能性も視野に入れるべき資料かもしれない。

人形や陽物、鳥形木製品といった祭祀に関わる資料もまとめて処理された(写真4)。これらも、福岡市内では出土例のきわめて限られる希少なものである。人形は、滋賀県の大中の湖南遺跡に、大きさは異なるが形状、表現が類似する出土例がある(濱1993)。弥生時代に北部九州で人面を表現した資料には、入れ墨等の表現が見られるものが多いが、元岡・桑原の人形にはそれが無いという指摘もある(常松2014)。

弥生時代後期における拠点集落出土の木製品の良好且つ珍しい事例として、今後、広く活用されることが望まれる。



1. 元岡・桑原42次 農具



2. 元岡・桑原42次 杓子類



3. 元岡・桑原42次 削り抜き容器



4. 元岡・桑原42次 祭祀関係

平成28(2016)年度保存処理木製品一覧

処理No.	区分	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
板付39次(調査番号:8140 市報83-494集)							
33337	市	30072	立杭	木	弥生時代?	13	PEG含浸
33338	市	30088	立杭	木	弥生時代?	13	PEG含浸
33339	市	30104	立杭	木	弥生時代?	13	PEG含浸
今宿五郎江2次(調査番号:8407 市報238集)							
33340	市	30235	舟材	木	弥生時代?	124	PEG含浸
33341	市	30236	編み板	木	弥生時代?	112	PEG含浸
原9次(調査番号:8428 市報140集)							
34534	市	00037	墨書木札	木	中世	27-32	トレハロース含浸
34535	市	00039	墨書木札	木	中世	27-33	トレハロース含浸
34536	市	00040	墨書木札	木	中世	27-34	トレハロース含浸
博多29次(調査番号:8509 市報148集)							
34537	市	20017	木栓	木	古代~近世	未図化	トレハロース含浸
34538	市	20016	篋	木	古代~近世	未図化	トレハロース含浸
34539	市	20024	朝り物	木	古代~近世	未図化	トレハロース含浸
34540	市	60013	蓋	木	古代~近世	未図化	トレハロース含浸
34541	市	60022	木栓(墨書)	木	古代~近世	未図化	トレハロース含浸
比恵33次(調査番号:9039 未報告)							
34542	市	06605	槽破片	木	弥生時代		トレハロース含浸
34543	市	06606	槽	木	弥生時代		トレハロース含浸
34544	市	06124	槽	木	弥生時代		トレハロース含浸
梅林3次(調査番号:9843 市報698集)							
33342	市	10101	杭	木	近世	17-123	PEG含浸
33343	市	10102	杭	木	近世	17-127	PEG含浸
33344	市	10103	杭	木	近世	17-124	PEG含浸
33345	市	10104	杭	木	近世	17-128	PEG含浸
33346	市	10105	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33347	市	10106	杭	木	近世	17-130	PEG含浸
33348	市	10107	杭	木	近世	17-126	PEG含浸
33349	市	10108	杭	木	近世	17-125	PEG含浸
33350	市	10151	杭	木	近世	19-164	PEG含浸
33351	市	10152	杭	木	近世	19-163	PEG含浸
33352	市	10153	杭	木	近世	19-161	PEG含浸
33353	市	10154	杭	木	近世	19-160	PEG含浸
33354	市	10251	杭	木	近世	26-31	PEG含浸
33355	市	10301	杭	木	近世	17-135	PEG含浸
33356	市	10302	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33357	市	10303	杭	木	近世	17-134	PEG含浸
33358	市	10304	杭	木	近世	17-137	PEG含浸
33359	市	10305	杭	木	近世	17-138	PEG含浸
33360	市	10306	杭	木	近世	17-132	PEG含浸
33361	市	10307	杭	木	近世	17-129	PEG含浸
33362	市	10308	杭	木	近世	17-142	PEG含浸
33363	市	10309	杭	木	近世	17-141	PEG含浸
33364	市	10310	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33365	市	10311	杭	木	近世	17-140	PEG含浸
33366	市	10312	杭	木	近世	17-139	PEG含浸
33367	市	10313	杭	木	近世	17-131	PEG含浸
33368	市	10314	杭	木	近世	17-133	PEG含浸
33369	市	10315	杭	木	近世	17-136	PEG含浸
33370	市	10321	杭	木	近世	18-143	PEG含浸
33371	市	10322	杭	木	近世	18-144	PEG含浸
33372	市	10323	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33373	市	10324	立杭	木	近世	18-147	PEG含浸
33374	市	10325	立杭	木	近世	18-153	PEG含浸
33375	市	10326	立杭	木	近世	18-146	PEG含浸
33376	市	10327	立杭	木	近世	18-149	PEG含浸
33377	市	10328	立杭	木	近世	18-150	PEG含浸
33378	市	10330	立杭	木	近世	18-152	PEG含浸
33379	市	10331	立杭	木	近世	18-145	PEG含浸
33380	市	10332	立杭	木	近世	18-151	PEG含浸
33381	市	10341	杭	木	近世	34-43	PEG含浸
33382	市	10351	杭	木	近世	44-68	PEG含浸
33383	市	10352	自然木模木	木	近世	未図化	PEG含浸
33384	市	10353	自然木模木	木	近世	44-67	PEG含浸
33385	市	10354	立杭	木	近世	44-66	PEG含浸
33386	市	10371	杭	木	近世	34-45	PEG含浸
33387	市	10381	杭	木	近世	34-44	PEG含浸
33388	市	10382	杭	木	近世	34-46	PEG含浸
33389	市	10401	杭	木	近世	45-71	PEG含浸
33390	市	10402	杭	木	近世	45-72	PEG含浸
33391	市	10403	杭	木	近世	45-70	PEG含浸
33392	市	10411	立杭	木	近世	45-74	PEG含浸
33393	市	10412	立杭	木	近世	45-73	PEG含浸
33394	市	10501	木刺	木	近世	56-90	PEG含浸
33395	市	10502	木製品	木	近世	47	PEG含浸
33396	市	10503	木製品	木	近世	57-94	PEG含浸
33397	市	10504	木桶	木	近世	56-88	PEG含浸
33398	市	10505	木製品	木	近世	56-91	PEG含浸
33399	市	10506	留め具	木	近世	56-89	PEG含浸
33400	市	10512	杭	木	近世	55-78	PEG含浸
33401	市	10514	杭	木	近世	52-48	PEG含浸
33402	市	10515	杭	木	近世	52-52	PEG含浸
33403	市	10517	杭	木	近世	55-82	PEG含浸
33404	市	10518	杭	木	近世	52-47	PEG含浸
33405	市	10519	杭	木	近世	55-80	PEG含浸
33406	市	10520	杭	木	近世	52-49	PEG含浸
33407	市	10521	杭	木	近世	52-51	PEG含浸
33408	市	10522	大木	木	近世	未図化	PEG含浸
33409	市	10523	杭	木	近世	52-50	PEG含浸
33410	市	10531	椀皮	木	近世	未図化	PEG含浸
33411	市	11101	杭	木	近世	19-159	PEG含浸
33412	市	11102	杭	木	近世	19-158	PEG含浸

処理No.	区分	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
33413	市	11103	杭	木	近世	19-162	PEG含浸
33414	市	11105	杭	木	近世	20-166	PEG含浸
33415	市	11108	杭	木	近世	19-154	PEG含浸
33416	市	11109	杭	木	近世	19-157	PEG含浸
33417	市	11110	杭	木	近世	19-155	PEG含浸
33418	市	11111	杭	木	近世	19-156	PEG含浸
33419	市	11401	立杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33420	市	11402	立杭	木	近世	39	PEG含浸
33421	市	11403	杭流木	木	近世	44-65	PEG含浸
33422	市	11404	杭	木	近世	44-63	PEG含浸
33423	市	11405	杭	木	近世	44-64	PEG含浸
33424	市	11411	容器	木	近世	44-60	PEG含浸
33425	市	11412	槽	木	近世	44-61	PEG含浸
33426	市	11503	杭	木	近世	56-93	PEG含浸
33427	市	11504	杭	木	近世	56-92	PEG含浸
33428	市	11511	杭	木	近世	52-42	PEG含浸
33429	市	11512	杭	木	近世	52-44	PEG含浸
33430	市	11513	杭	木	近世	52-37	PEG含浸
33431	市	11514	杭	木	近世	52-36	PEG含浸
33432	市	11515	杭	木	近世	52-40	PEG含浸
33433	市	11516	杭	木	近世	52-41	PEG含浸
33434	市	11517	杭	木	近世	47	PEG含浸
33435	市	11518	杭	木	近世	52-35	PEG含浸
33436	市	11519	杭	木	近世	52-38	PEG含浸
33437	市	11520	杭	木	近世	52-39	PEG含浸
33438	市	11521	杭	木	近世	52-43	PEG含浸
33439	市	11522	杭	木	近世	52-46	PEG含浸
33440	市	11523	杭	木	近世	52-45	PEG含浸
33441	市	11551	杭	木	近世	53-63	PEG含浸
33442	市	11552	杭	木	近世	54-76	PEG含浸
33443	市	11553	杭	木	近世	53-55	PEG含浸
33444	市	11554	杭	木	近世	54-72	PEG含浸
33445	市	11555	杭	木	近世	53-53	PEG含浸
33446	市	11560	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33447	市	11561	杭	木	近世	53-64	PEG含浸
33448	市	11562	杭	木	近世	53-61	PEG含浸
33449	市	11563	杭	木	近世	54-74	PEG含浸
33450	市	11564	杭	木	近世	54-69	PEG含浸
33451	市	11565	杭	木	近世	54-75	PEG含浸
33452	市	11566	杭	木	近世	54-71	PEG含浸
33453	市	11567	杭	木	近世	54-73	PEG含浸
33454	市	11568	杭	木	近世	54-70	PEG含浸
33455	市	11569	杭	木	近世	55-83	PEG含浸
33456	市	11570	杭	木	近世	55-84	PEG含浸
33457	市	11571	杭	木	近世	55-85	PEG含浸
33458	市	11572	杭	木	近世	53-62	PEG含浸
33459	市	11573	杭	木	近世	53-59	PEG含浸
33460	市	11574	杭	木	近世	53-60	PEG含浸
33461	市	11575	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33462	市	11576	杭	木	近世	53-65	PEG含浸
33463	市	11577	杭	木	近世	53-56	PEG含浸
33464	市	11578	杭	木	近世	53-57	PEG含浸
33465	市	11579	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33466	市	11580	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
33467	市	11581	杭	木	近世	55-86	PEG含浸
33468	市	11582	杭	木	近世	53-58	PEG含浸
33469	市	11583	杭	木	近世	未図化	PEG含浸
博多120次(調査番号:9952 市報706集)							
34545	市	07506	不明	木	中世?	未図化	トレハロース含浸
上月隈B1次(調査番号:0125 市報742集)							
33470	市	40003	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33471	市	40004	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33472	市	40005	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33473	市	40006	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33474	市	40007	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33475	市	40008	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33476	市	40009	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33477	市	40010	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33478	市	40011	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33479	市	40012	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33480	市	40013	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33481	市	40014	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33482	市	40015	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33483	市	40016	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33484	市	40017	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33485	市	40018	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33486	市	40019	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33487	市	40020	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33488	市	40021	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33489	市	40022	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33490	市	40023	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33491	市	40024	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33492	市	40025	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸
33493	市	40026	井戸桶板材	木	中世前半	未図化	PEG含浸

処理 No.	区分	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
33505	市	40038	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33506	市	40039	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33507	市	40040	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33508	市	40041	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33509	市	40042	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33510	市	40043	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33511	市	40044	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33512	市	40045	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33513	市	40046	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33514	市	40047	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33515	市	40048	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33516	市	40049	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33517	市	40050	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33518	市	40051	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33519	市	40052	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33520	市	40053	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33521	市	40054	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33522	市	40055	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33523	市	40056	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33524	市	40057	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33525	市	40058	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33526	市	40059	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33527	市	40060	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33528	市	40061	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33529	市	40062	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33530	市	40063	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33531	市	40064	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33532	市	40065	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33533	市	40066	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33534	市	40067	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33535	市	40068	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33536	市	40069	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33537	市	40070	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33538	市	40071	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33539	市	40072	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33540	市	40073	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33541	市	40074	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33542	市	40075	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33543	市	40076	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33544	市	40077	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33545	市	40078	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33546	市	40079	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33547	市	40080	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33548	市	40081	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33549	市	40082	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33550	市	40083	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33551	市	40084	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33552	市	40085	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33553	市	40086	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33554	市	40087	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33555	市	40088	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33556	市	40089	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33557	市	40090	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33558	市	40091	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33559	市	40092	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33560	市	40093	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33561	市	40094	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33562	市	40095	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33563	市	40096	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33564	市	40097	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33565	市	40098	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33566	市	40099	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33567	市	40100	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33568	市	40101	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33569	市	40102	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33570	市	40103	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33571	市	40104	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33572	市	40105	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33573	市	40106	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33574	市	40107	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33575	市	40108	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33576	市	40109	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33577	市	40110	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33578	市	40111	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33579	市	40112	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33580	市	40113	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33581	市	40114	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33582	市	40115	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33583	市	40116	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33584	市	40117	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33585	市	40118	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33586	市	40119	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33587	市	40120	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33588	市	40121	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33589	市	40122	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33590	市	40123	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33591	市	40124	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33592	市	40125	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33593	市	40126	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33594	市	40127	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33595	市	40128	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33596	市	40129	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33597	市	40130	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33598	市	40131	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
33599	市	40132	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸

処理 No.	区分	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
33600	市	40133	井戸橋板材	木	中世前半	未図化	PEG 含浸
今宿五郎江9次(調査番号: 0255 市報872集)							
33601	市	01279	杭	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33602	市	01280	杭	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33603	市	03197	割材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33604	市	03383	割材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33605	市	03613	割材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33606	市	03614	割材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33607	市	03946	割材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
33608	市	06348	切断材	木	弥生時代中～後期	未図化	PEG 含浸
元岡・森原42次(調査番号: 0451 市報1246集ほか)							
33217	補	01027	横樋	木	弥生時代中～後期	27-108	PEG 含浸
33218	補	01035	棒状木製品	木	弥生時代中～後期	59-317	PEG 含浸
33219	補	01038	一木筋か棒状木製品	木	弥生時代中～後期	21-59	PEG 含浸
33220	補	01042	梃	木	弥生時代中～後期	37-163	PEG 含浸
33221	補	01076	不明部材	木	弥生時代中～後期	47-255	PEG 含浸
33222	補	01077	板材	木	弥生時代中～後期	47-256	PEG 含浸
33223	補	01082	横樋	木	弥生時代中～後期	27-107	PEG 含浸
33224	補	01104	多又鋸	木	弥生時代中～後期	24-90	PEG 含浸
33225	補	01133	扉か	木	弥生時代中～後期	38-168	PEG 含浸
33226	補	01134	容器	木	弥生時代中～後期	37-161	PEG 含浸
33227	補	01141	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-369	PEG 含浸
33228	補	01153	三又鋸	木	弥生時代中～後期	18-28	PEG 含浸
33229	補	01155	建築材	木	弥生時代中～後期	52-279	PEG 含浸
33230	補	01156	祭祀具	木	弥生時代中～後期	21-62	PEG 含浸
33231	補	01169	脚部	木	弥生時代中～後期	37-160	PEG 含浸
33232	補	01171	杓子柄	木	弥生時代中～後期	42-200	PEG 含浸
33233	補	01172	自在鉤または罎器か	木	弥生時代中～後期	58-311	PEG 含浸
33234	補	01188	容器	木	弥生時代中～後期	41-189	PEG 含浸
33235	補	01191	把手	木	弥生時代中～後期	42-198	PEG 含浸
33236	補	01192	杓子	木	弥生時代中～後期	40-183	PEG 含浸
33237	補	01195	容器	木	弥生時代中～後期	40-186	PEG 含浸
33238	補	01198	動物杓子	木	弥生時代中～後期	40-182	PEG 含浸
33239	補	01200	底板	木	弥生時代中～後期	38-169	PEG 含浸
33240	補	01203	把手付容器	木	弥生時代中～後期	33-133	PEG 含浸
33241	補	01204	板状木製品	木	弥生時代中～後期	35-142	PEG 含浸
33242	補	01205	一木鉄鉤か	木	弥生時代中～後期	21-57	PEG 含浸
33243	補	01207	刺突具	木	弥生時代中～後期	60-334	PEG 含浸
33244	補	01208	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-368	PEG 含浸
33245	補	01210	杓子柄	木	弥生時代中～後期	43-205	PEG 含浸
33246	補	01211	杓子柄	木	弥生時代中～後期	43-206	PEG 含浸
33247	補	01212	鍔着道具か	木	弥生時代中～後期	23-74	PEG 含浸
33248	補	01214	サラエ	木	弥生時代中～後期	20-52	PEG 含浸
33249	補	01217	容器	木	弥生時代中～後期	40-185	PEG 含浸
33250	補	01218	把手	木	弥生時代中～後期	44-234	PEG 含浸
33251	補	01219	蓋	木	弥生時代中～後期	38-167	PEG 含浸
33252	補	01220	鋸	木	弥生時代中～後期	22-63	PEG 含浸
33253	補	01221	糸島型鋸	木	弥生時代中～後期	20-48	PEG 含浸
33254	補	01222	三又鋸	木	弥生時代中～後期	19-43	PEG 含浸
33255	補	01223	一木三又鋸	木	弥生時代中～後期	26-101	PEG 含浸
33256	補	01224	鋸先	木	弥生時代中～後期	19-42	PEG 含浸
33257	補	01226	棒状木製品	木	弥生時代中～後期	59-324	PEG 含浸
33258	補	01227	杭	木	弥生時代中～後期	59-326	PEG 含浸
33259	補	01229	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-360	PEG 含浸
33260	補	01230	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-367	PEG 含浸
33261	補	01232	容器	木	弥生時代中～後期	33-135	PEG 含浸
33262	補	01233	棒状木製品	木	弥生時代中～後期	59-329	PEG 含浸
33263	補	01235	鉢か	木	弥生時代中～後期	33-131	PEG 含浸
33264	補	01236	杓子	木	弥生時代中～後期	42-204	PEG 含浸
33265	補	01238	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-362	PEG 含浸
33266	補	01241	不明	木	弥生時代中～後期	36-149	PEG 含浸
33267	補	01242	蓋	木	弥生時代中～後期	39-174	PEG 含浸
33268	補	01243	蓋	木	弥生時代中～後期	44-224	PEG 含浸
33269	補	01246	鋸	木	弥生時代中～後期	22-70	PEG 含浸
33270	補	01247	容器	木	弥生時代中～後期	33-137	PEG 含浸
33271	補	01248	蓋または底板	木	弥生時代中～後期	39-175	PEG 含浸
33272	補	01249	杓子	木	弥生時代中～後期	41-188	PEG 含浸
33273	補	01250	杓子	木	弥生時代中～後期	42-202	PEG 含浸
33274	補	01251	二又鋸	木	弥生時代中～後期	17-21	PEG 含浸
33275	補	01252	板状木製品	木	弥生時代中～後期	65-370	PEG 含浸
33276	補	01253	琴板片	木	弥生時代		

処理 No.	区分	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
33299	補	01435	扇形木製品	木	弥生時代中～後期	67-378	PEG 含浸
33300	補	01436	刷物箱蓋	木	弥生時代中～後期	68-379	PEG 含浸
33301	補	01437	刷物箱	木	弥生時代中～後期	68-380	PEG 含浸
33302	補	01438	刷物箱	木	弥生時代中～後期	68-381	PEG 含浸
33303	補	01439	刷物箱蓋	木	弥生時代中～後期	68-382	PEG 含浸

山王3次(調査番号: 0468 市報 879集)

34548	市	30001	独染	木	中世(12C中頃～後半)	20-174	トレハロース含浸
34549	市	30002	独染木製品	木	中世(12C中頃～後半)	20-175	トレハロース含浸
34550	市	30003	独染素材?	木	中世(12C中頃～後半)	20-176	トレハロース含浸
34551	市	30004	独染素材?	木	中世(12C中頃～後半)	20-177	トレハロース含浸
34552	市	30005	独染素材?	木	中世(12C中頃～後半)	20-178	トレハロース含浸

久保園4次(調査番号: 0827 市報 1148集)

33304	補	02004	底板	木	弥生中期～古代	21-142	PEG 含浸
33305	補	02006	容器	木	弥生中期～古代	21-144	PEG 含浸
33609	市	02009	建築部材	木	弥生中期～古代	21-147	PEG 含浸
33306	補	02017	木栓	木	弥生中期～古代	24-159	PEG 含浸
33307	補	02024	板状木製品	木	弥生中期～古代	34-217	PEG 含浸
33308	補	02027	小型楔	木	弥生中期～古代	34-220	PEG 含浸
33309	補	02028	底板片	木	弥生中期～古代	34-221	PEG 含浸
33610	市	02031	棒状	木	弥生中期～古代	43-278	PEG 含浸
33310	補	02033	鍬	木	弥生中期～古代	49-320	PEG 含浸
33611	市	02048	棒状	木	弥生中期～古代	51-335	PEG 含浸
33311	補	02050	杭	木	弥生中期～古代	51-337	PEG 含浸
33312	補	02051	板状木製品	木	弥生中期～古代	51-338	PEG 含浸
33313	補	02053	板状木製品	木	弥生中期～古代	52-340	PEG 含浸
33314	補	02055	植物部品	木	弥生中期～古代	52-342	PEG 含浸
33613	市	02065	部材	木	弥生中期～古代	53-352	PEG 含浸
33614	市	02068	板材	木	弥生中期～古代	54-355	PEG 含浸
33615	市	02069	板材	木	弥生中期～古代	54-356	PEG 含浸
33616	市	02070	杭	木	弥生中期～古代	54-357	PEG 含浸
33617	市	02071	建築部材	木	弥生中期～古代	54-358	PEG 含浸
33618	市	02072	建築部材	木	弥生中期～古代	54-359	PEG 含浸
33619	市	02073	榫棒	木	弥生中期～古代	54-360	PEG 含浸
33315	補	02080	板材	木	弥生中期～古代	56-376	PEG 含浸
33316	補	02082	斧柄	木	弥生中期～古代	68-477	PEG 含浸
33317	補	02084	布巻具	木	弥生中期～古代	69-479	PEG 含浸
33620	市	02087	割材	木	弥生中期～古代	69-482	PEG 含浸
33621	市	02088	割材	木	弥生中期～古代	69-483	PEG 含浸
33318	補	02091	杓子	木	弥生中期～古代	102-699	PEG 含浸
33319	補	02092	整件	木	弥生中期～古代	102-700	PEG 含浸
33320	補	02093	整件	木	弥生中期～古代	102-701	PEG 含浸
33622	市	02094	ネズミ返し	木	弥生中期～古代	102-702	PEG 含浸
33321	補	10094	板目材	木	弥生中期～古代	130-94	PEG 含浸
33322	補	10095	大足踏板	木	弥生中期～古代	130-95	PEG 含浸
33323	補	10196	槽	木	弥生中期～古代	140-196	PEG 含浸
33324	補	10197	天板	木	弥生中期～古代	140-197	PEG 含浸
33325	補	10198	柱受材	木	弥生中期～古代	140-198	PEG 含浸
33326	補	10199	扉材	木	弥生中期～古代	141-199	PEG 含浸
33327	補	10200	扉材	木	弥生中期～古代	141-200	PEG 含浸
33328	補	10257	平鋸	木	弥生中期～古代	151-257	PEG 含浸
33329	補	10258	平鋸	木	弥生中期～古代	151-258	PEG 含浸
33330	補	10319	網棹	木	弥生中期～古代	158-319	PEG 含浸
33331	補	10320	鋸	木	弥生中期～古代	158-320	PEG 含浸
33332	補	10321	三又鍬片	木	弥生中期～古代	158-321	PEG 含浸
33333	補	10419	把手	木	弥生中期～古代	172-419	PEG 含浸
33334	補	10420	鍬着装具	木	弥生中期～古代	172-420	PEG 含浸
33335	補	10421	紐目材	木	弥生中期～古代	172-421	PEG 含浸
33623	市	13001	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33624	市	13002	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33625	市	13003	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33626	市	13004	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33627	市	13005	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33628	市	13006	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33629	市	13007	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33630	市	13014	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33631	市	13015	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33632	市	13016	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33633	市	13017	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33634	市	13018	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33635	市	13019	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33636	市	13020	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33637	市	13021	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33638	市	13022	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33639	市	13023	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33640	市	13024	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33641	市	13025	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33642	市	13026	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33643	市	13027	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33644	市	13028	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33645	市	13029	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33646	市	13030	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33647	市	13031	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33648	市	13032	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33649	市	13033	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33650	市	13035	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33651	市	13036	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33652	市	13037	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33653	市	13038	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33654	市	13039	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33655	市	13040	杭片	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33656	市	13043	杭先・樹皮	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33657	市	13044	不明材	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33658	市	13047	樹皮	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33659	市	13048	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33660	市	13049	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸

処理 No.	区分	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
33661	市	13050	杭	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33662	市	36034	樹皮	木	弥生中期～古代	未図化	PEG 含浸
33336	補	40160	網把手	木	弥生中期～古代	257-260	PEG 含浸
33612	市	02048(仮)	杭片	木	弥生中期～古代	52-335	PEG 含浸

高畑20次(調査番号: 0833 市報 1150集)

33663	市	60008	屋根部材	木	弥生～古代	71-586	PEG 含浸
33664	市	60091	横櫓	木	弥生～古代	106-717	PEG 含浸
33665	市	60116	横櫓	木	弥生～古代	106-718	PEG 含浸
33666	市	60117	横櫓	木	弥生～古代	106-719	PEG 含浸
33667	市	60201	板状破片	木	弥生～古代	Tab.9	PEG 含浸
33668	市	60204	横架材片	木	弥生～古代	Tab.9	PEG 含浸
33669	市	60205	大型槽片	木	弥生～古代	Tab.9	PEG 含浸
33670	市	60251	板材	木	弥生～古代	Tab.12	PEG 含浸
33671	市	60256	棒状	木	弥生～古代	Tab.12	PEG 含浸
33672	市	60257	曲物底か	木	弥生～古代	Tab.12	PEG 含浸
33673	市	60301	板材	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33674	市	60302	曲物底	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33675	市	60310	横架材断欠片	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33676	市	60311	杉板片	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33677	市	60312	槽	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33678	市	60313	槽小口	木	弥生～古代	Tab.47	PEG 含浸
33679	市	60322	板材片	木	弥生～古代	Tab.48	PEG 含浸
33680	市	60326	柱材端	木	弥生～古代	Tab.48	PEG 含浸
33681	市	60328	柱材端	木	弥生～古代	Tab.48	PEG 含浸
33682	市	60337	ホノ穴付柱材	木	弥生～古代	Tab.49	PEG 含浸
33683	市	60342	柱材	木	弥生～古代	Tab.49	PEG 含浸
33684	市	60343	杭か	木	弥生～古代	Tab.49	PEG 含浸
33685	市	60347	杭	木	弥生～古代	Tab.50	PEG 含浸
33686	市	60352	杭	木	弥生～古代	Tab.50	PEG 含浸
33687	市	60356	板材	木	弥生～古代	Tab.50	PEG 含浸
33688	市	60360	横架転用杭	木	弥生～古代	Tab.50	PEG 含浸
33689	市	60361	横架転用杭	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33690	市	60362	講造部材	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33691	市	60363	桁か梁	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33692	市	60364	講造部材	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33693	市	60365	講造部材	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33694	市	60367	建築部材	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33695	市	60368	横櫓片	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33696	市	60370	床材か	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33697	市	60373	杭か	木	弥生～古代	Tab.51	PEG 含浸
33698	市	60376	杭	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33699	市	60379	板材	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33700	市	60381	棒状	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33701	市	60386	横材の端材	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33702	市	60388	杭	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33703	市	60389	製材未成品	木	弥生～古代	Tab.52	PEG 含浸
33704	市	60404	板端材	木	弥生～古代	Tab.53	PEG 含浸
33705	市	60415	火災住居の垂木転用材	木	弥生～古代	Tab.54	PEG 含浸
33706	市	60421	長方形の槽の側面	木	弥生～古代	Tab.54	PEG 含浸
33707	市	60431	垂木材の一部	木	弥生～古代	Tab.55	PEG

(3) 金属製品

1) 保存処理の概要と工程

今年度、木製品以外で何らかの保存処理作業を行った資料は19遺跡、823点で、大半は金属器を対象とした作業である。

金属器の保存処理工程は、概ね以下の工程により行っている。

①事前調査

②クリーニング

金属器の表面を覆っている埋土や余分な腐食層の除去を行う。鉄製品の場合は、腐食層が分厚く固い場合が多いことから、精密グラインダーやエアブラシといった装置を用いる。銅や青銅などの非鉄金属は、腐食層が薄く、本来の表面が良好に残っている場合が多く、アルコール洗浄や、メス、特殊なタガネを使っての作業を行っている。金銅製品など特に緻密さを要求される資料に対しては、顕微鏡下での作業となる。

③安定化

金属製品のメタル部分は、塩化物や硫化物イオンにより、著しく腐食が進行することが知られており、メタルの残存する資料に対しては、これらの物質の除去や不活性化が必要となる。鉄製品は、内部にメタルが残存しすべてが錆に置き換わっていない資料に対して、セスキ炭酸ナトリウムの水溶液に浸漬して塩化物イオンの溶出を、また、銅製品については、ベンゾ・トリ・アゾール（BTA）のアルコール溶液に浸漬して塩類の不活性化を図っている。

④樹脂含浸

資料の強化や腐食の要因物質である酸素や水気との隔離を目的として、合成樹脂を含浸し、保護膜の形成を行う。鉄製品、銅製品とも無色で変色の少ないアクリル樹脂を用いるが、塗膜の厚さを考慮して、鉄製品にはパラロイドNAD-10、銅製品には同B-72をそれぞれ使用している。内部まで含浸させる必要がある資料については、50cm/Hg程度の減圧含浸を行っている。

⑤修復

接着は強度を必要としない場合はセルロース系、ある程度の強度を要するときはエポキシ系の接着剤を使用。欠損の補填を行う場合、接着剤にマイクロバルーンを混ぜて粘度を高めたものや、金属粉と充填剤の入ったエポキシ樹脂（日新レジン／ポップメタル）などを使用している。

以上の処置を行った後も、決して安心はできない。温度や湿度などの周辺環境は、資料の保全に何らかの影響を及ぼすものであり、処置後の資料もできる限り安定した環境で保管されることが望ましい。当センターでは、金属器は基本、温湿度管理をしている特別収蔵庫に保管しているほか、必要に応じて、酸素を透過しない特殊なバリア袋に資料と脱酸素、脱水の機能を持った薬剤を封入する方法（三菱ガス化学／RPシステム）も用いている。



庚寅銘大刀保存処理後

2) 保存処理資料の紹介

平成28年度処理資料の中から、幾つかについて詳述する。

元岡・桑原56次調査の金象嵌銘文大刀は、いわゆる庚寅銘大刀である。同調査において元岡古墳群G群6号墳から平成23年秋に出土し、直後の透過X線調査で象嵌銘文が発見された。その後、象嵌部分のX線CTを用いた詳細調査を経て、文字の表出作業を中心とした保存処理作業が平成24～26年度に行われ、平成27年1月に全19文字の表出が完了した。平成28年度は、象嵌以外の部分の余分な錆の除去作業を行い、概ね全体像が姿を現したことから、一旦、処理完了として実績計上したものである。

保存処理後の資料は、当センターで平成28年12月1日～10日までお披露目展示を行い、その後、『発掘された日本列島展』の北九州会場(いのちのたび博物館)にて展示された。

博多195次の蓮弁形青銅製品は、土壌墓(SK54)から出土した。腰骨の下に置かれており、副葬品ないしは被葬者が身につけていた品と考えられる。平面形は蓮弁状を呈し、僅かに湾曲が見られる。凸面側は銀色の光沢が一部に残り、反対面には全体に繊維や木質が付着している。類例が大塚18次で出土しており(遺物登録番号111700026〔以下同じ〕)、こちらは平成25年度に保存処理を行っている。大塚遺跡の資料は博多の事例より一回り大きく、下端に割り込みがある点でやや異なるが、湾曲の度合い、片面に銀色の光沢がある点などで共通する。



博多195次 蓮弁形銅製品

これらの資料は現状では用途不明である。しかし、宋代の鏡には蓮弁状の形態をとるものがあり(孔1992)、本資料には縁や鈕は無いものの、時代的な部分も考えると、蓮弁形湖州鏡を模したものと見ることもできる。

弥永原11次の鉄器類は弥生時代後期～古墳時代前期と見られる複数の墳墓の副葬品である。この内、31号土壌墓の袋状鉄斧と、そこに銹着して出土した鉄製ヤリガンナには、折り目の密度が異なる二種類以上の繊維が銹化した状態で付着、残存している。被葬者の衣服や副葬品を納めていた布の痕跡などと考えられる。

このほか、弥生時代の北部九州で特徴的且つ希少な青銅製品の保存処理を行っている。

高畑21次では、溝(SD21)から青銅製鋤先が出土した。これは、墓坑を掘るのに使用したという説もあるなど(柳田2002)、日常的な道具ではなくハレの場での使用が想定されている資料である。全国的に見ると100例ほどの出土例があり、その大半は福岡県、佐賀県である。市内では比恵・那珂、あるいは今宿五郎江、元岡といった拠点集落やその周辺で約50例弱の出土が知られる。



高畑21次 青銅製鋤先

山王10次では、銅釘と呼ばれる青銅製のボタン状製品や、青銅製ヤリガンナが出土し、保存処理を行った。銅釘は全国でも10点程度の出土例しかなく(菊池ほか2017)、その多くを佐賀、熊本の事例が占める。福岡では県域全体を見ても初の事例となる。唯一、鑄型が佐賀県鳥栖市の藤木遺跡で出土している(島ほか2015)。山

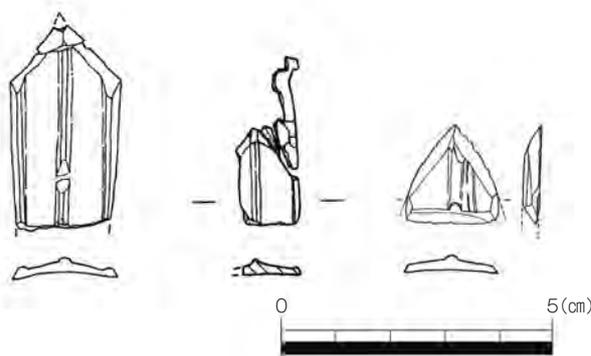
王10次の事例は全体の1/4程度の残存で中央の鈕部分は欠失している。巴型銅器の可能性も考えたが、残存する縁辺部に脚の痕跡は認められず、銅釦と見るのが妥当であろう。径4.2cm程度に復元され、他の事例と比べると一回り小型である。



山王10次 銅釦



山王10次 青銅製ヤリガンナ



市内出土青銅製ヤリガンナの類例
(左から東入部1次・三苦5次・雀居13次)

青銅製ヤリガンナは片岡宏二氏による詳しい研究がある(片岡1999)。それによれば、これらは朝鮮半島や中国はもちろん、ロシアやベトナムなど東アジアに広く分布するとされる。日本では平成11年の時点において全国で製品13

例、鑄型2例が示されている。鑄型も含め福岡、佐賀、熊本、大分の概ね北部九州に出土が限定される。市内では東入部1次(907450001)、三苦3次(950200384)、雀居13次(981906002)に次いで4例目である。

山王10次のこれら青銅器は、2点とも青緑色の色調で表層は腐食生成物に覆われることなく残存している点でよく似通っている。分析による確認はしていないが、錫分の多い青銅器に特徴的な質感を示す。それぞれ出土遺構は異なっているが、色調や質感の共通性が遺跡全体の埋蔵環境によるものか、あるいは金属組成も含めた要因に起因するのかは今後の検討課題である。

【参考文献】

片岡宏二1999『弥生時代渡来人と土器・青銅器』雄山閣
 菊池望・若林邦彦2017「田辺天神山遺跡出土銅釦の調査報告」『同志社大学歴史資料館館報』同志社大学歴史資料館
 孔祥星1992『中国銅鏡図典』文物出版社(中国語)
 島孝寿・田尻義了2015『藤木遺跡 宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書』鳥栖市文化財調査報告書第84集 鳥栖市教育委員会
 常松幹雄2014「IV 第42次調査の記録-2-」『九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 元岡・桑原遺跡群23-第18次・42次・59次調査の報告-』福岡市埋蔵文化財調査報告書第1246集 福岡市教育委員会
 濱修1993「弥生時代の木偶と祭祀-中主町湯ノ部遺跡出土木偶から-」『紀要』第6号 財団法人滋賀県文化財保護教会
 柳田康雄2002『九州弥生文化の研究』学生社

平成28(2016)年度保存処理金属製品一覧

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
かじ塚古墳 (調査番号: 7214 市報 33集)						
33876	07009	馬具(鍍金具)	鉄	古墳時代後期	96-3	クリーニング・樹脂含液
33877	07010	馬具(鍍金具)	鉄	古墳時代後期	96-2	クリーニング・樹脂含液
有田96次 (調査番号: 8422 市報 1177集)						
33164	10501	鏡貨(永楽通寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33165	10504	鏡貨(永楽通寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33166	10505	鏡貨(永楽通寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33167	10502	鏡貨(照準元寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33168	10503	銅鈴	青銅	未図化	クリーニング・樹脂含液	
比摩22次 (調査番号: 8903 未報告)						
33169		銅削切先	青銅	弥生時代?		クリーニング・樹脂含液
蒲田水ヶ元3次 (調査番号: 0851 市報 1147集)						
33740	02001	不明小片	鉄	弥生時代終末	未図化	クリーニング・樹脂含液
33741	02002	刀子	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33742	02003	鉄鏃	鉄	古墳時代初期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33743	02004	不明小片	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33744	02005	釘	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33745	02006	刀子片	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33746	02007	鉄鏃	鉄	古墳時代前期	PL34-378	クリーニング・樹脂含液
33747	02008	刀子片	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33748	02009	たがね状	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33749	02010	鋸先片か	鉄	弥生時代後期	PL34-376	クリーニング・樹脂含液
33750	02011	鉄鏃	鉄	古墳時代前期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33751	02012	鉄鏃	鉄	古墳時代前期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33752	02013	塊状の鍔造鉄製品	鉄	古墳時代後期	未図化	クリーニング・樹脂含液
33753	02014	鉄鏃	鉄	古墳時代	未図化	クリーニング・樹脂含液
松木田4次 (調査番号: 0905 市報 1204・1241集)						
33754	30001	鍔帯金具	青銅	古代	34-241	クリーニング・樹脂含液
33755	30002	鍔の茎	鉄	古代	36-255	クリーニング・樹脂含液
33756	30003	鍔の茎	鉄	古代	36-256	クリーニング・樹脂含液
33757	30004	不明棒状	鉄	不明	41-308	クリーニング・樹脂含液
33758	30005	不明棒状	鉄	不明	41-309	クリーニング・樹脂含液
33759	30006	揺輪か	鉄か	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
33760	43001	鉄鏃	鉄	古墳時代後期	18-68	クリーニング・樹脂含液
33761	43002	鉄鏃	鉄	古墳時代後期	18-69	クリーニング・樹脂含液
33762	43003	鉄鏃	鉄	古墳時代後期	18-70	クリーニング・樹脂含液
33763	43004	鉄鏃	鉄	古墳時代後期	18-71	クリーニング・樹脂含液
33764	43005	鍔の茎	鉄	古墳時代後期	18-72	クリーニング・樹脂含液
33765	43006	刀子片	鉄	古墳時代後期	18-73	クリーニング・樹脂含液
33766	43007	鍔の茎	鉄	古墳時代後期	18-74	クリーニング・樹脂含液
33767	43008	不明	鉄	古墳時代後期	18-75	クリーニング・樹脂含液
33768	43009	手鏃	鉄	古墳時代後期	19-85	クリーニング・樹脂含液
元岡・原原56次 (調査番号: 1043 市報 1210集)						
33380	10577	金糸鍔鉄刀	鉄	古墳時代後期	56	クリーニング・樹脂含液
博多193次 (調査番号: 1201 市報 1235集)						
33769	00041	鏃	鉄	近世	6-041	クリーニング・樹脂含液
33770	00042	鏃	鉛	近世	6-042	クリーニング・樹脂含液
博多195次 (調査番号: 1304 市報 1267集)						
33170	50001	連弁形青銅製品	青銅	中世	23-150	クリーニング・樹脂含液
元岡・原原63次 (調査番号: 1328 市報 1328集)						
33799		キセル扉首	青銅	近世	8-12	クリーニング・樹脂含液
33800		キセル吸口	青銅	近世	8-12	クリーニング・樹脂含液
33801		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	8-14	クリーニング・樹脂含液
33802		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33803		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33804		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33805		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33806		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	8-16	クリーニング・樹脂含液
33807		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33808		鏡貨(鉄鏃)	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33809		鏡貨3枚	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33810		キセル扉首	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33811		キセル吸口	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33812		和鉄	鉄	近世	8-17	クリーニング・樹脂含液
33813		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	8-18	クリーニング・樹脂含液
33814		鏡貨(鉄鏃)2枚	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33815		金具	鉄	近世	8-19	クリーニング・樹脂含液
33816		金具	鉄	近世	8-20	クリーニング・樹脂含液
33817		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	9-31	クリーニング・樹脂含液
33818		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	9-32	クリーニング・樹脂含液
33819		鏡貨(寛永通寶)2枚	青銅	近世	9-33・34	クリーニング・樹脂含液
33820		毛抜きか	鉄	近世	9-30	クリーニング・樹脂含液
33821		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33822		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33823		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33824		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33825		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33826		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33827		包丁	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33828		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-21	クリーニング・樹脂含液
33829		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-22	クリーニング・樹脂含液
33830		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-23	クリーニング・樹脂含液
33831		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-24	クリーニング・樹脂含液
33832		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-25	クリーニング・樹脂含液
33833		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	89-26	クリーニング・樹脂含液
33834		釘	鉄	近世	8-29	クリーニング・樹脂含液
33835		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	8-27	クリーニング・樹脂含液
33836		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33837		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33838		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33839		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33840		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33841		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33842		キセル扉首	青銅	近世	10-38	クリーニング・樹脂含液
33843		釘	鉄	近世	10-39	クリーニング・樹脂含液
33844		釘	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33845		和鉄+櫛	鉄	近世	10-35	クリーニング・樹脂含液
33155		鏡貨6枚	青銅	近世	10-40 ~ 43	クリーニング・樹脂含液
33846		和鉄+櫛	鉄	近世	10-47	クリーニング・樹脂含液
33847		釘	鉄	近世	10-48	クリーニング・樹脂含液
33848		キセル扉首	青銅	近世	10-49	クリーニング・樹脂含液
33849		キセル扉首	青銅	近世	10-51	クリーニング・樹脂含液
33850		釘	鉄	近世	10-52	クリーニング・樹脂含液

処理No.	遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
33851		釘	鉄	近世	10-53	クリーニング・樹脂含液
33852		釘	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33853		キセル吸口	青銅	近世	10-51	クリーニング・樹脂含液
33854		不明	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33855		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	10-55	クリーニング・樹脂含液
33856		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33857		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33858		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33859		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33860		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	10-54	クリーニング・樹脂含液
33861		鏡貨(寛永通寶)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
那珂154次 (調査番号: 1421 市報 1286集)						
33771	03004	袋状鉄斧	鉄	弥生-古墳	未図化	クリーニング・樹脂含液
33772	02001	刀子	鉄	弥生-古墳	未図化	クリーニング・樹脂含液
高畑21次 (調査番号: 1428 市報 1284集)						
33773	50001	鋸先	青銅	弥生時代中~後期	21-157	クリーニング・樹脂含液
福岡城下町1次 (調査番号: 1435 市報 1322集)						
33172	30001	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33173	30002	寛永通寶	青銅	近世	61-C2	クリーニング・樹脂含液
33174	30003	寛永通寶	青銅	近世	61-C3	クリーニング・樹脂含液
33175	30004	鏡貨小片	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33176	30005	寛永通寶	青銅	近世	61-C5	クリーニング・樹脂含液
33177	30006	寛永通寶	青銅	近世	61-C6	クリーニング・樹脂含液
33178	30009	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33179	30010	寛永通寶	青銅	近世	61-C10	クリーニング・樹脂含液
33180	30013	寛永通寶	青銅	近世	61-C13	クリーニング・樹脂含液
33181	30014	寛永通寶	青銅	近世	61-C14	クリーニング・樹脂含液
33182	30016	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33183	30017	元祐通寶	青銅	近世	61-C17	クリーニング・樹脂含液
33184	30018	鏡貨(判読不能)	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33185	30019	寛永通寶	青銅	近世	61-C19	クリーニング・樹脂含液
33186	30020	寛永通寶	青銅	近世	61-C20	クリーニング・樹脂含液
33187	30021	寛永通寶	青銅	近世	61-C21	クリーニング・樹脂含液
33188	30022	寛永通寶	青銅	近世	61-C22	クリーニング・樹脂含液
33189	30023	寛永通寶	青銅	近世	61-C23	クリーニング・樹脂含液
33190	30024	元豊通寶	青銅	近世	61-C24	クリーニング・樹脂含液
33191	30025	寛永通寶	青銅	近世	61-C25	クリーニング・樹脂含液
33192	30026	寛永通寶	青銅	近世	61-C26	クリーニング・樹脂含液
33193	30032	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33194	30033	寛永通寶	青銅	近世	61-C33	クリーニング・樹脂含液
33195	30034	寛永通寶	青銅	近世	61-C34	クリーニング・樹脂含液
33196	30036	鉄鏃(寛永通寶か)	鉄	近世	61-C36	クリーニング・樹脂含液
33197	30037	鉄鏃(寛永通寶か)	鉄	近世	61-C37	クリーニング・樹脂含液
33198	30040	寛永通寶	青銅	近世	61-C40	クリーニング・樹脂含液
33199	30041	寛永通寶	青銅	近世	61-C41	クリーニング・樹脂含液
33200	30044	寛永通寶	青銅	近世	61-C44	クリーニング・樹脂含液
33201	30045	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33202	30046	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33203	30048	皇宋通寶	青銅	近世	61-C48	クリーニング・樹脂含液
33204	30050	乳元重寶・当十銭	青銅	近世	61-C50	クリーニング・樹脂含液
33205	30051	照準元寶	青銅	近世	61-C51	クリーニング・樹脂含液
33206	30052	寛永通寶	青銅	近世	61-C52	クリーニング・樹脂含液
33207	30053	祥符通寶	青銅	近世	61-C53	クリーニング・樹脂含液
33208	30054	元豊通寶	青銅	近世	61-C54	クリーニング・樹脂含液
33209	30055	洪武通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33210	30056	慶長通寶	青銅	近世	61-C56	クリーニング・樹脂含液
33211	30057	寛永通寶	青銅	近世	61-C57	クリーニング・樹脂含液
33212	30058	鉄鏃(寛永通寶か)	鉄	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33213	30061	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33214	30059	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33215	30060	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33216	30062	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33774	30007	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33775	30011	元符通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33776	30012	寛永通寶	青銅	近世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33777	30015	寛永通寶	青銅			

処理 No.	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
34316		()元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34317		小片多数	青銅	中世	未図化	クリーニング
34318		祥符通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34319		政和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34320		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34321		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34322		(皇)宗通(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34323		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34324		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34325		開元通(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34326		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34327		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34328		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34329		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34330		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34331		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34332		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34333		政和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34334		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34335		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34336		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34337		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34338		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34339		紹聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34340		紹聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34341		嘉祐元寶か	青銅	中世	未図化	クリーニング
34342		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34343		元豊通寶か	青銅	中世	未図化	クリーニング
34344		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34345		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34346		紹聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34347		天禧通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34348		天禧通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34349		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34350		太平通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34351		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34352		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34353		嘉祐元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34354		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34355		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34356		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34357		嘉祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34358		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34359		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34360		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34361		大定通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34362		大定通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34363		景徳元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34364		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34365		大観通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34366		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34367		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34368		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34369		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34370		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34371		祥符通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34372		□元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34373		乳元重寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34374		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34375		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34376		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34377		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34378		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34379		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34380		淳化(元寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34381		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34382		錢貨(小片8つ)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34383		景徳元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34384		嘉祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34385		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34386		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34387		祥符元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34388		洪武通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34389		太平通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34390		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34391		洪武通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34392		天()寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34393		錢貨(小片6つ)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34394		祥符通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34395		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34396		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34397		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34398		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34399		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34400		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34401		祥符元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34402		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34403		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34404		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34405		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34406		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34407		開()寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34408		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34409		宋通元寶か	青銅	中世	未図化	クリーニング
34410		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34411		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34412		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34413		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34414		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34415		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34416		□()寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34417		()豊通()	青銅	中世	未図化	クリーニング
34418		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34419		宣和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34420		政和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34421		嘉祐元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング

処理 No.	遺物 No.	資料名	材質	時代	報告書 Fig	処理方法
34422		至道元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34423		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34424		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34425		聖宋元寶か	青銅	中世	未図化	クリーニング
34426		淳化元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34427		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34428		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34429		紹聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34430		天禧通寶か	青銅	中世	未図化	クリーニング
34431		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34432		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34433		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34434		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34435		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34436		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34437		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34438		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34439		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34440		()元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34441		()元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34442		開()通()	青銅	中世	未図化	クリーニング
34443		錢貨(小片6つ)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34444		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34445		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34446		3枚銭着・判読不能	青銅	中世	未図化	クリーニング
34447		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34448		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34449		皇(宗)通(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34450		(景)徳元(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34451		至和元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34452		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34453		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34454		元豊通(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34455		乳元重寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34456		聖宋元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34457		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34458		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34459		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34460		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34461		天聖元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34462		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34463		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34464		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34465		祥符元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34466		元豊通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34467		嘉祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34468		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34469		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34470		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34471		政和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34472		大観通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34473		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34474		政和通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34475		錢貨(小片7つ)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34476		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34477		宋通(元寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34478		()寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34479		皇宗通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34480		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34481		治平元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34482		祥符元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34483		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34484		熙寧元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34485		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34486		景祐元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34487		()元寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34488		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34489		(元)豊通(寶)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34490		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34491		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング
34492		元符通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34493		開元通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34494		大観通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34495		元祐通寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
34496		元()寶	青銅	中世	未図化	クリーニング
箱崎73次(調査番号: 1501 市報1316集)						
33875	60008	大型筒状製品	青銅	中世(14C)	12	クリーニング・樹脂含液
箱崎75次(調査番号: 1506 市報1317集)						
33881		錢貨(天聖元寶)	青銅	中世	19-185	クリーニング・樹脂含液
33882		錢貨(皇宗通寶)	青銅	中世	19-201	クリーニング・樹脂含液
33883		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33884		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33885		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33886		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
33887		錢貨(判読不能)	青銅	中世	未図化	クリーニング・樹脂含液
山王9次(調査番号: 1517 未報告)						
33878		板状鉄製品	鉄	不明		クリーニング・樹脂含液
33879		板状	鉄	不明		クリーニング・樹脂含液
山王10次(調査番号: 1520 市報1309集)						
33171	50006	青銅製ヤリガンナ	青銅	弥生	30219, PL19-3	クリーニング・樹脂含液
33961	50004	銅製(ボタン状製品)	青銅	弥生	20-137, PL18-8	クリーニング・樹脂含液
33962	51003	釘	鉄	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
33963	50001	釘	鉄	不明	15-94	クリーニング・樹脂含液
33964	50005	釘状	鉄	不明	30-216	クリーニング・樹脂含液
33966	50007	取っ手	青銅	中世	40-293	クリーニング・樹脂含液
33967	50008	釘	鉄	中世	40-303	クリーニング・樹脂含液
33968	51005	釘	鉄	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
33969	50003	鐵	鉄	不明	20-138	クリーニング・樹脂含液
33970	51004	釘	鉄	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
33971	50002	ヤリガンナか	鉄	不明	19-101	クリーニング・樹脂含液
33872	51002	釘	鉄	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
33873	51001	不明	青銅	不明	未図化	クリーニング・樹脂含液
野方平原3次(調査番号: 1522 市報1313集)						
33739	00009	不明金銅製品	青銅	不明	43-9	クリーニング・樹脂含液

6. 入館者数

(1) 入館者総数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)		
日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27	306			
個 人	一 般	男	159	159	146	125	167	190	142	132	164	148	165	195	1,892	62.8%
		女	61	51	62	55	57	55	57	50	42	46	61	71	668	22.2%
		小計	220	210	208	180	224	245	199	182	206	194	226	266	2,560	84.9%
	学 生	小学生	12	10	16	24	37	5	10	5	9	2	3	9	142	4.7%
		中学生	0	0	2	8	23	6	1	0	1	0	3	2	46	1.5%
		高校生	1	0	2	1	4	0	1	1	0	0	1	1	12	0.4%
		大学生	20	6	4	6	107	8	6	5	18	2	3	9	194	6.4%
		その他	7	11	4	8	3	8	3	2	1	2	5	6	60	2.0%
		小計	40	27	28	47	174	27	21	13	29	6	15	27	454	15.1%
	合 計(a)	260	237	236	227	398	272	220	195	235	200	241	293	3,014	100.0%	
団 体	一般	89	189	165	161	36	186	201	230	106	118	133	44	1,658	72.0%	
	(団体数)	4	6	3	3	5	5	5	4	2	2	5	2	46		
	小学生	0	156	150	0	130	0	91	22	8	0	12	18	587	25.5%	
	(団体数)	0	1	1		2		1	1	1		1	1	9		
	中学生	0	0	0	0	8	0	0	0	43	0	0	0	51	2.2%	
	(団体数)	0				1				1				2		
	高校生	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.3%	
	(団体数)	0			1									1		
	大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	(団体数)	0												0		
合 計(b)	89	345	315	168	174	186	292	252	157	118	145	62	2,303	100.0%		
(団体数計)	4	7	4	4	8	5	6	5	4	2	6	3	58			
総 計(a+b)	349	582	551	395	572	458	512	447	392	318	386	355	5,317			
出前授業	301	457	671	332	0	352	699	94	125	0	0	0	3,031			
(学校数)	6	7	10	4	0	5	7	1	1	0	0	0	41			

(2) 個人入館者年齢区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	21	23	24	42	67	20	15	8	11	4	13	18	266	8.8%
20～29才	33	13	21	18	113	21	17	16	31	14	19	20	336	11.1%
30～39才	27	31	36	28	30	54	28	33	37	37	48	50	439	14.6%
40～49才	58	60	45	57	61	63	52	42	54	45	61	80	678	22.5%
50～59才	53	53	57	41	57	55	54	51	56	45	50	68	640	21.2%
60～69才	55	34	42	32	55	48	40	32	34	37	30	42	481	16.0%
70～79才	13	19	11	8	13	10	13	9	11	10	18	13	148	4.9%
80才以上	0	4	0	1	2	1	1	4	1	8	2	2	26	0.9%
計	260	237	236	227	398	272	220	195	235	200	241	293	3,014	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福 岡 市	169	119	137	153	270	158	159	111	137	139	156	215	1,923	63.8%
福 岡 県 内	52	69	74	43	74	57	30	35	45	48	27	36	590	19.6%
県 外	37	48	25	31	44	51	28	47	46	13	51	39	460	15.3%
国 外	2	1	0	0	10	6	3	2	7	0	7	3	41	1.4%
計	260	237	236	227	398	272	220	195	235	200	241	293	3,014	100.0%

(4) 平成26～28年度一覧表

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期計	合 計
平成26年度	233	758	402	487	405	454	418	398	237	878	1,120	671	2,739	6,461
平成27年度	226	652	631	501	470	460	437	453	370	325	315	366	2,940	5,206
平成28年度	349	582	551	395	572	458	512	447	392	318	386	355	2,907	5,317
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27		
各月一日平均(人)	13.4	22.4	21.2	14.6	22.0	17.6	19.7	17.2	17.0	13.8	16.1	13.1		
平成28年度累計(人)	349	931	1,482	1,877	2,449	2,907	3,419	3,866	4,258	4,576	4,962	5,317		
開館以降累計(人)	374,392	374,974	375,525	375,920	376,492	376,950	377,462	377,909	378,301	378,619	379,005	379,360		

7. 平成28年度当初予算

(1) 歳入

12,578千円 (国庫補助金10,998千円、使用料及び手数料137千円、諸収入1,443千円)

(2) 歳出

142,870千円 (自主財源130,292千円) 内訳：管理運営費82,425千円、事業費60,445千円

II 保存処理用事前調査機器の更新について

1. はじめに～更新に至る経緯

埋蔵文化財の保存処理とは、埋蔵環境下で劣化や破損した文化財に対して施される、維持と活用のための処置といえる。埋蔵文化財センターでは、昭和57年の開館当初から、木製品保存処理のための装置（PEG 含浸槽）を設置し、低湿地の遺跡から出土する含水出土木製品の保存処理を行ってきた。金属製品も昭和59年に腐食層除去のためのエアブラシや、強化処置のための樹脂含浸装置を設置し、処理を開始した。

しかし、人間の医療に例えられる埋蔵文化財に対する保存処理の中で、診察に当たる事前調査は、そのための装置として実体顕微鏡や赤外線カメラしかなく、多くは目視や触診に頼るしか無い状況であった。特に金属製品の場合、出土直後は分厚い腐食生成物に覆われ本来の形状がわかりにくくなっているものが多く、肉眼観察のみで腐食生成物の除去を行うことは、資料の破損と隣り合わせという困難な状況を抱えていた。当時の保存処理施設は、この年報の第15号に掲載されているのでご参照いただきたい。

その後、平成11年に収蔵庫の飽和状態解消のための施設の増改築が行われ、それに合わせて保存処理施設も拡充された。この時、事前調査のための様々な機器（装置）が導入された。その目的と種類は次のとおりとなる。

(1) 肉眼（＝可視光線）では見えないもの、部分を可視光線とは異なる波長の電磁波を使って見る。

→透過 X 線撮影装置、赤外線カメラ

(2) 小さなもの、部分を拡大して観察する。

→実体顕微鏡、デジタルマイクロスコープ、電子顕微鏡

(3) 見ただけでは分からない、材質、結晶構造、分子構造を解析する。

→蛍光 X 線分析装置、X 線回折装置、赤外分光装置

装置の選定にあたっては、文化財を対象とすることから非破壊での分析、観察に適した仕様という部分を重視した。

これら事前調査機器は、保存処理、つまり治療前の診察、診断のための情報を得ることはもちろんであるが、同時に埋蔵文化財の履歴情報である材質や製作技法といった情報獲得も可能であり、以後、保存処理のみならず、埋蔵文化財の調査において様々な成果が得られてきた。それらは施設リニューアルの翌年度から毎年行っている保存処理成果展の中で紹介してきた。数ある成果の中でも最たるものが、平成23年に発見された庚寅銘大刀と言えるであろう。

また、機器類は稼働状態を保つことで性能が維持される。稼働率を上げる意味合いもあって、一定の条件を満たし、手続きを行った上での外部利用を認めてきた。平成17年に九州国立博物館が開館し、平成22年には福岡県の九州歴史資料館が移転、リニューアルしてそれぞれCTスキャンをはじめとした高度な調査、分析機器を導入したが、それまでは本格的な分析装置を所有する施設が九州では福岡市のみという状況もあり、市外の文化財に関しても多くの調査、分析が行われてきた。小畑弘己氏や山崎純男氏によるレプリカ法を用いた過去の植生復元、あるいは大坪志子氏による縄文時代の石製玉類を対象とした材質調査などは、本市装置によって得られた、考古学における大きな成果と位置づけられる。

なお、機器の導入にあたっては、備品による購入ではなく賃貸借という形態が採られた。その結果、賃貸借期間が満了した際に、機器の更新が行われることとなった。当初の期間は8年間であったので、平成19年に最初の更新が行われたが、この時は装置本体がそれほど老朽化していなかったこともあり、大半の装置は操作のためのパソコン部分の更新を中心としていた。

その後、更に8年が経過し、平成27年度に二度目の更新を迎えることとなったが、この時は当初から16年が経過して装置本体も老朽化が進んでいたため、装置そのものを入れ替えることとなった。そのため予算措置の都合により、更新は平成27年と28年度の二カ年に渡った。

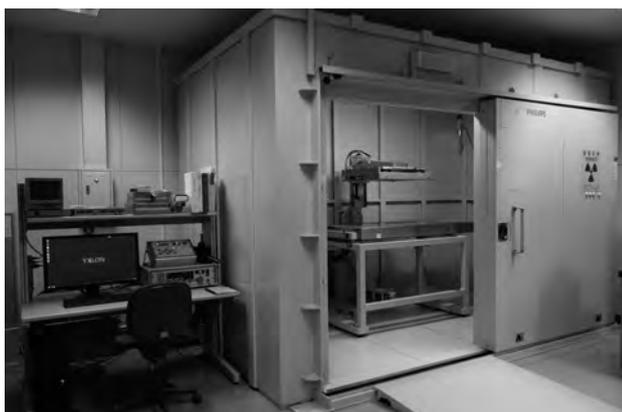
以下、更新された機器類について紹介する。

2. 現在の事前調査機器類

(1) 透過 X 線撮影装置 (YEXLON MG226)

◆概要

可視光線よりもエネルギーの強い電磁波である X 線を照射して資料を観察することによって、肉眼では見ることのできない資料の内部構造を観察する装置。文化財調査では最も基本的な事



透過 X 線撮影装置 (全体)



透過 X 線撮影装置 (部分)



庚寅銘大刀の銘文



左の写真の透過 X 線像

(2) 微少領域用エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置 (AMETEK EDAX Orbis)

◆概要

資料に X 線を照射すると、資料に含まれる元

前調査機器の一つといえる。

X 線は肉眼で見ることができないため、フラットパネルと呼ばれる X 線の撮像素子によって電気信号に変換し、デジタル画像として PC 画面上に表示する。

◆特徴

- ・ X 線管球の出力は 10 ~ 225kV で、木などの柔らかいものから、鉄や青銅などの金属製品まで、幅広い材質の資料に対応。
- ・ フラットパネルの有効視野は 409.6 × 409.6(mm) と大きく、広範囲な観察が可能。
- ・ 下面照射型の装置構成となっており、資料を水平に設置して観察することから、文化財を安定した状態で調査することができる。

素から二次 X 線 (= 特性 X 線・蛍光 X 線) が発生する。これを検出器でとらえて解析することにより、含まれる元素の種類や量を調べる。

エネルギー分散型の装置は、発生する二次 X

線の広範囲なスペクトルを同時に測定するため、迅速に分析を行うことが可能。また弱いX線でも効率のよい分析ができるのも大きな特徴である。

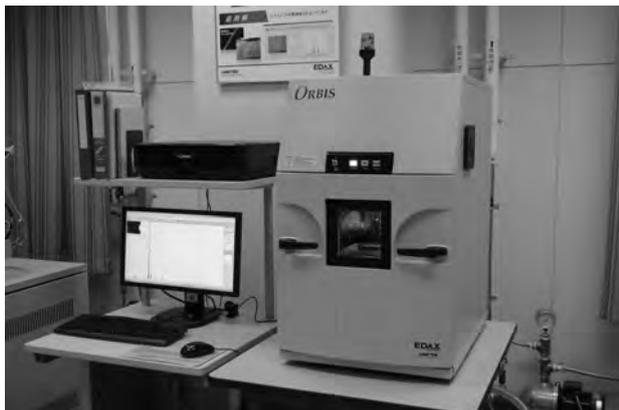
主に無機系物質（金属、顔料、石材、ガラス等）の材質（含有元素）分析に用いられる。

◆特徴

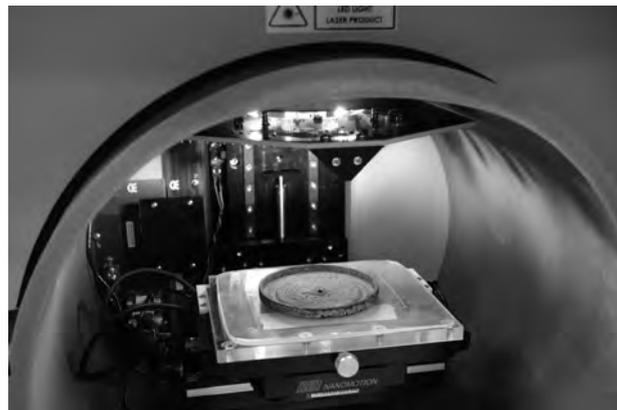
- ・シリコンドリフト検出器（SDD）によって、よ

り高速で、効率の高い分析が可能。

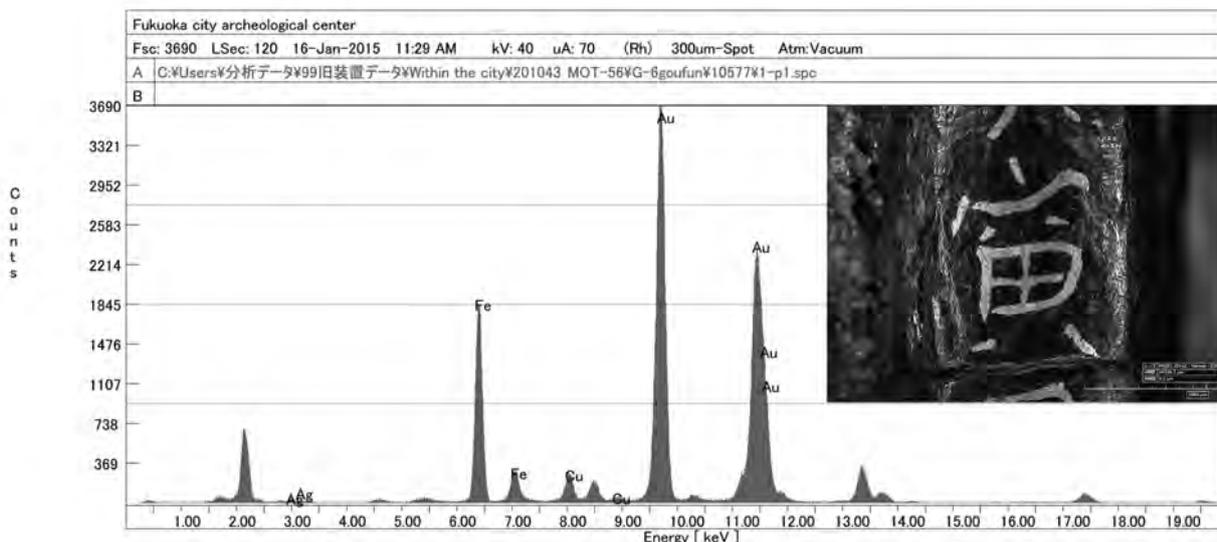
- ・検出器の冷却はペルチェ冷却方式を採用しており、従来のような液体窒素冷却が不要。
- ・可変型のキャピラリー、コリメータを搭載しており、分析範囲が2 mm、1 mm、0.3mm の3種類から選択できる。



蛍光 X 線分析装置



蛍光 X 線分析装置（試料室）



蛍光 X 線分析装置による分析結果（庚寅銘大刀の象嵌文字部分）

(3) X 線回折装置 (Bruker AXS D8DISCOVER)

◆概要

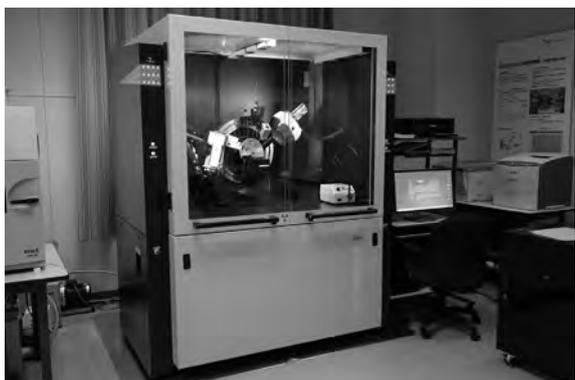
資料に X 線を照射し、資料を構成する結晶から生じる回折 X 線を解析することで、その結晶構造を調べる装置。主に顔料や鉱物などの同定に用いる。

◆特徴

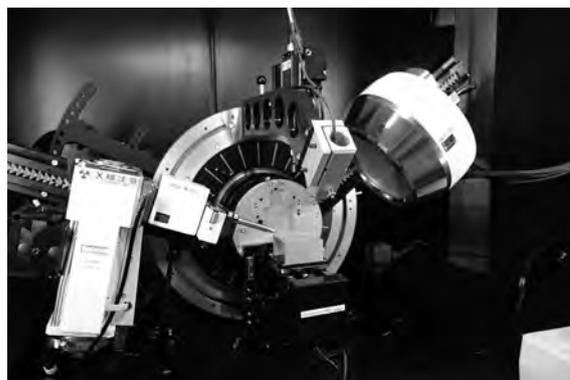
- ・大型（φ 135mm）の二次元検出器によって、多種多様な結晶構造を効率よく解析する事がで

きる。

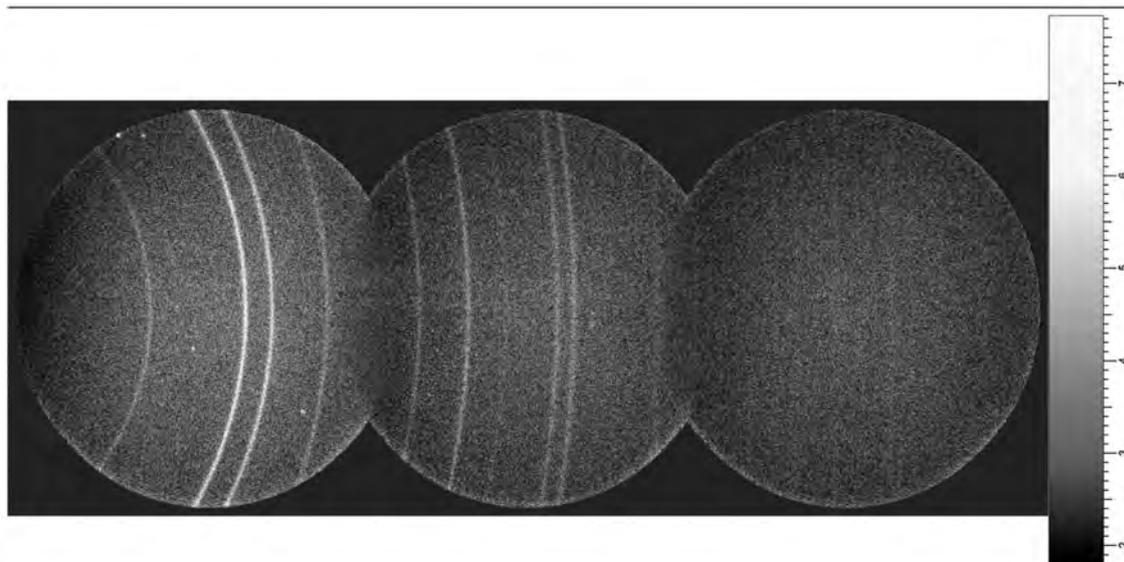
- ・コリメータの選択、交換によって、φ 0.05 ～ 2 mm まで、6 段階の分析範囲を選択することが可能。（コリメータの取り付けは磁石固定方式で、交換も簡便且つ高精度で行える。）
- ・レーザーとビデオを組み合わせた位置決めシステムにより、分析箇所を正確に視認することができる。



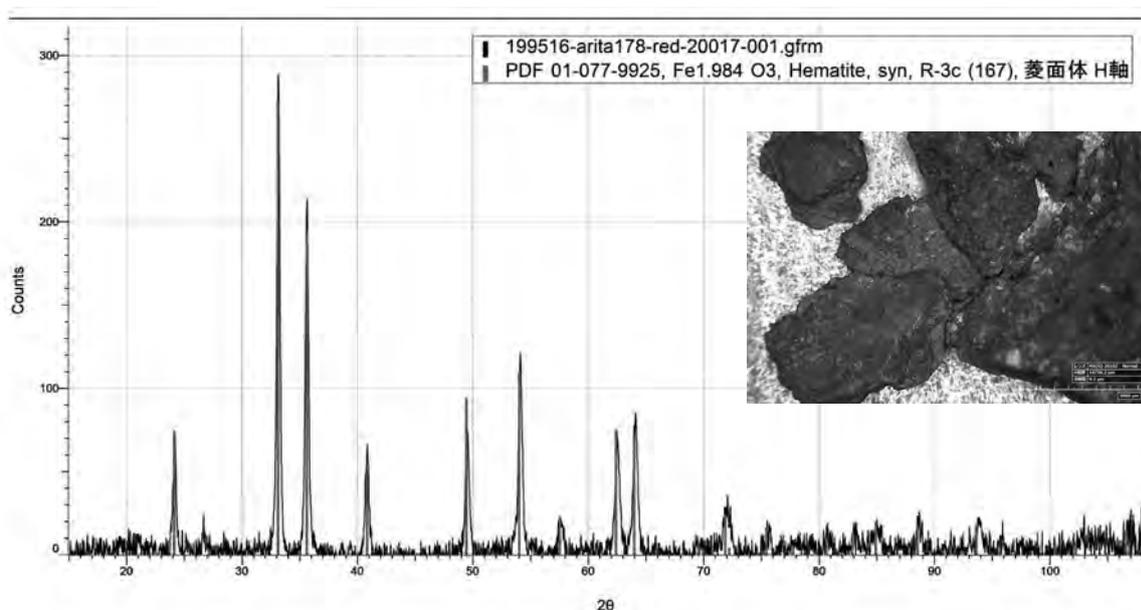
X線回折装置



X線回折装置測定部分



X線回折装置の分析結果(ベンガラ=酸化第二鉄)(二次元検出器の画像)



X線回折装置の分析結果(ベンガラ=酸化第二鉄)二次元検出器によるデータをピークに変換したものの

(4) 走査型電子顕微鏡 (FEI Quanta250 FEG)

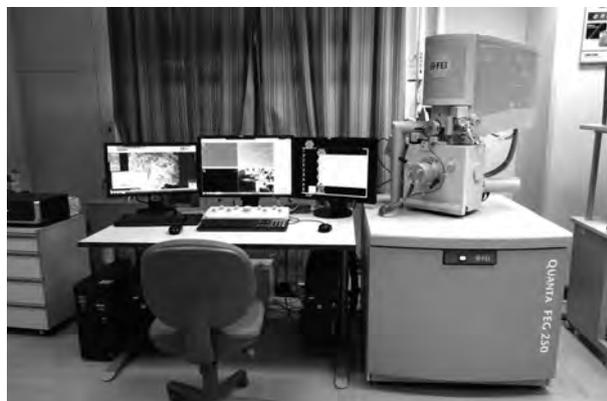
◆概要

光学顕微鏡で用いる可視光線の代わりに、電子線を用いる顕微鏡。資料に細く絞った電子線

を当て、資料表面から発生する二次電子や反射電子等を検出し画像化することによって、高分解能の画像を得ることができる。

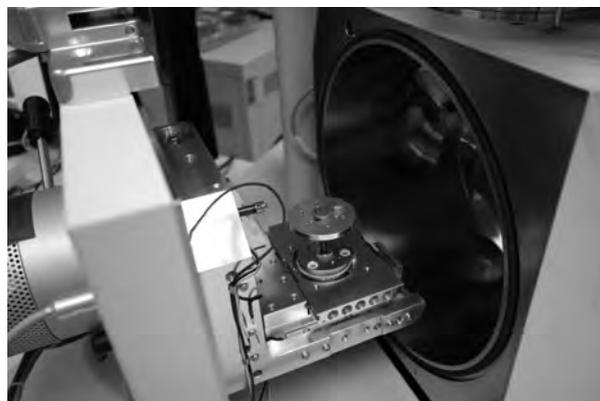
◆特徴

・高真空、低真空、ESEM（高圧観察）の3種類のモードによる観察が選択でき、有機物など幅広い資料に対応。



電子顕微鏡

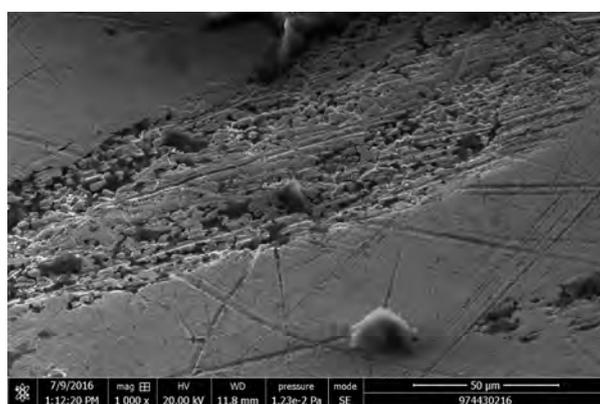
・エネルギー分散型の蛍光X線分析装置を付属しており、観察と同時に材質分析も可能。分析装置の検出器はペルチェ冷却方式を採用しており、従来のような液体窒素冷却が不要。



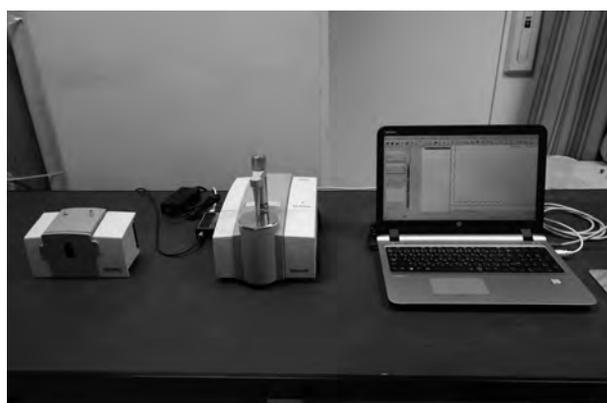
電子顕微鏡の試料室部分



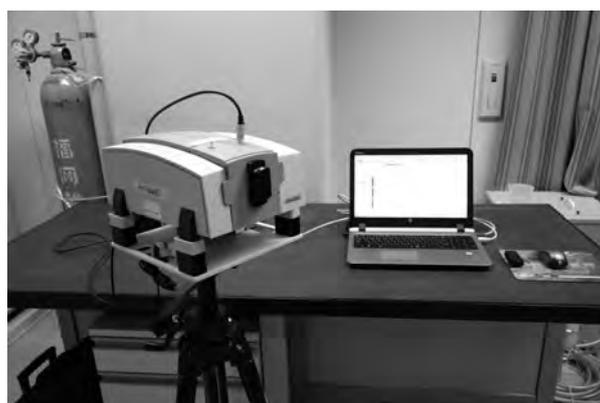
古墳時代の鍍金された耳環



電子顕微鏡で観察した鍍金の痕跡



赤外分光装置（通常使用時）



赤外分光装置（可搬分析時）

(5) 赤外分光装置（Bruker Optics ALPHA）

◆概要

資料に赤外光を照射し、透過または反射した光量を測定することで、資料を構成する物質の分子構造や官能基の情報を得る装置。

赤外光は、分子結合の振動や回転運動のエネルギーとして吸収される性質を用いている。主

に有機物の同定に用いる。

◆特徴

・装置がコンパクトで、持ち運びも容易。三脚への固定により絵画や仏像など、大型資料の分析にも対応可能。

・測定部分の交換によって、接触（ATR測定）、非接触（外部反射測定）の分析が選択できる。交

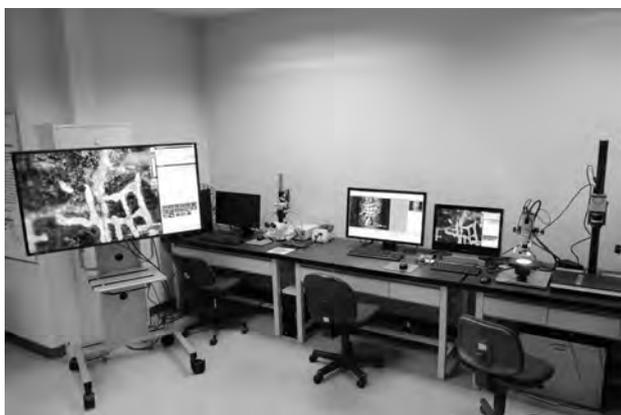
換も容易。

・ビームスプリッターなどの光学部品に ZnSe を使用し、高湿度環境にも安定して作動。

(6) 画像ファイリング装置

◆概要

各分析装置から得られる画像などのデータを保存、管理するためのパソコンと、観察用の大型モニター、実体顕微鏡やデジタルマイクロスコープ、赤外線カメラといった機器により構成される。



画像ファイリング装置

①デジタルマイクロスコープ(HYROX KH-8700)

実体顕微鏡はレンズで拡大した像を直接肉眼で観察するが、デジタルマイクロスコープは、資料に光を照射して、反射した光(像)を CCD カメラで検知、デジタル処理によって拡大し、モニター上で観察する装置。実体顕微鏡よりも高倍率(20～180倍)での観察が可能。

デジタルによる観察のため、画面上での計測や画像の合成、三次元化など、様々な機能が付加されている。

②赤外線カメラ(HAMAMATSU ORCA-Flash4.0 V2)

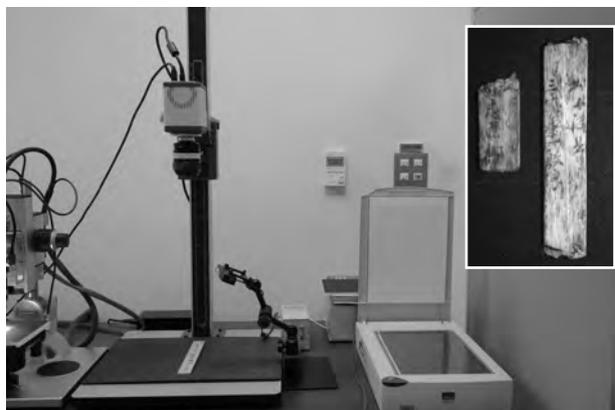
人間の目で見ることのできる光(可視光線)よりもやや波長の長い電磁波である赤外線を感知するセンサーを備えたカメラ。可視光線では反射してしまう表面層の奥にある情報を見ることができる。

特に出土木簡や墨書土器は、表面に汚れが付着して文字が見えにくくなっているが、赤外線

が汚れを通過して墨に吸収されるため、肉眼で見ると文字が鮮明に見える。



デジタルマイクロスコープ



赤外線カメラとスキャナー

3. おわりに

今回、平成27年度からの二カ年で事前調査機器が更新され、最新の装置を導入することができた。今後も、これらの機器類を有効に活用し、安定した保存処理と埋蔵文化財調査を行うことで、本市の文化財保護に貢献していきたい。

一方で、保存処理作業は平成24年度に係組織となり体制は充実したものの、活発な開発により多くの埋蔵文化財が出土する福岡市においては、資料の数と体制のバランスは十分とれているとは言い難く、全ての事前調査機器を常に動かすことは不可能な状況である。宝の持ち腐れになることなく、高性能の装置を有効活用するためにも、外部利用を含めて積極的な活用を図り、更にその成果を市民に還元していくことも大きな課題と考える。

Ⅲ 錫を装飾に用いた古墳出土鉄製品の新事例

1. はじめに

埋蔵文化財センターでは平成11年に保存処理のための事前調査機器を導入し、各種の調査を行ってきたが、その中では、保存処理のみならず考古学に有用な情報も少なからず得られてきた。今回、当センターの機器を用いた事前調査をきっかけとして、新たに古墳時代の錫を装飾に用いた資料が発見され、その使用状況の詳細が確認されたので紹介する。

2. 古代の錫利用

古代の金属製品において、錫は青銅の材料の一つとしてよく知られている。一方で、数は多くないものの、弥生～古墳時代の考古資料に錫が単体で使用されている事例もあり、成瀬正和氏や永嶋正春氏らの先行研究によって整理、周知されてきた(成瀬1989・永嶋1991)。本市においても当センターの装置を用いた調査で確認された、市内の耳環で錫が用いられている事例や、福津市出土の環頭大刀環頭部分に錫が装飾として用いられた事例の紹介を行ってきたところである(比佐2003・2004・2005)。

3. 資料の概要

今回紹介する資料は、古墳時代後期の馬具に用いられたと見られる帯金具3点である。平成13年度に実施された福岡市西区の浦江遺跡5次調査で、S0-03とされる古墳時代後期(6世紀中頃)の円墳主体部から出土した。出土遺跡の詳細は発掘調査報告書を参照されたい(吉留ほか2004)。



資料の外観

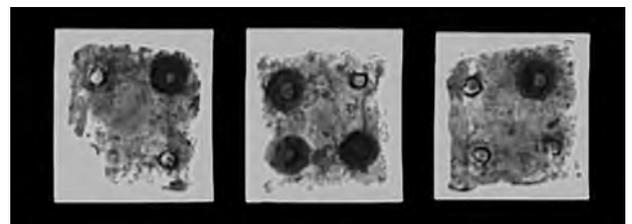
3点はほぼ同型同大、一辺が約3.5cmの方形で、頭部の径が10mmほどの鉤が4箇所に打たれているが、一部の鉤頭は失われている。厚さは板の部分で2mm前後、鉤は脚の残存部まで含めると12～13mmを測る。肉眼で見る外観は、鉄錆で全体が覆われており、鉄を主体とする素材で構成されていることが予測された。

4. 調査の経過

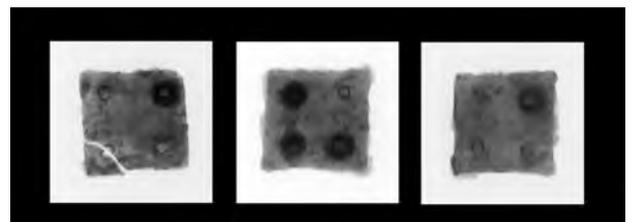
(1) 福岡市における調査

出土して間もない時期に、福岡市埋蔵文化財センターで透過X線撮影を行い、鉤の部分を中心に色が濃く写る部分が認められた。このため、微少領域用のエネルギー分散型蛍光X線分析装置による表面の非破壊分析を行い、錫の存在を確認した。しかし、この段階では錫がどの部分にどの様に使われているのかなど詳細を知るすべはなく、漠然と鉤頭の装飾に用いられたと推測していた。

その後、諸般の事情により調査が滞っていたが、平成27年度以降に当センターの機器類が更新されたこともあり、改めて調査を行ったところ、錫が資料の中で広範囲に存在する可能性が示された。



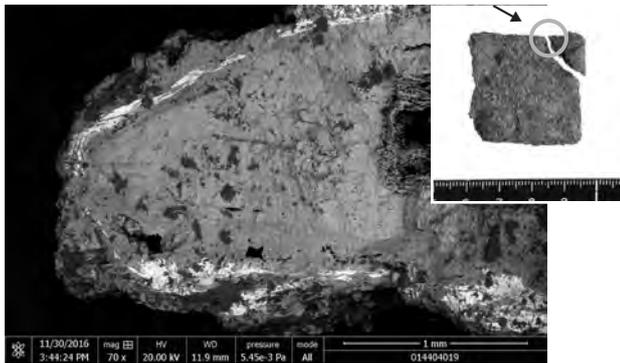
透過X線画像(旧装置=アナログ)



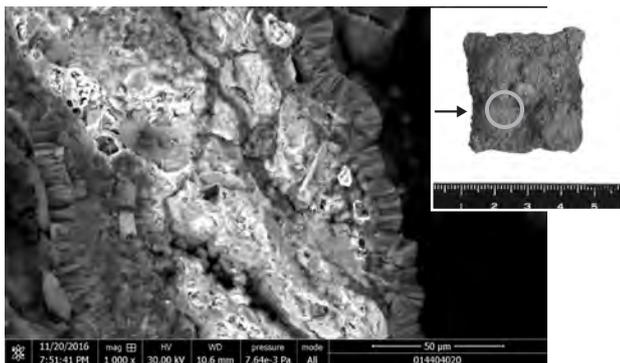
透過X線画像(新装置=デジタル)

まず透過X線撮影では、X線の受光部がII.(イメージインテンシファイア)からFD(フラット

パネル)へと変化し、画像が鮮明となった。その結果、色の濃くなっている部分が資料の広範囲に散在している様子が看取された。また、電子顕微鏡により表面観察を行ったところ、特に反射電子像で錫が表出している部分が鋌頭以外にも観察できた。しかし、錫の使用状況の全体像を知るには限界があった。



矢印部分の電子顕微鏡による反射電子像
(白く見える部分が錫)



矢印部分の電子顕微鏡による反射電子像
(白く見える部分が錫)

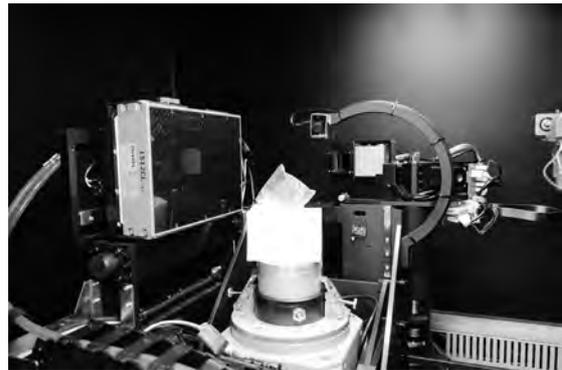
(2) 外部機関の装置を用いた X 線 CT 調査

そのため、X線マイクロCTを用いた調査を行うこととした。調査はブルカー・エイエックスエス社の協力を得て、同社のマルチスケール X線ナノトモグラフィシステム SKYSCAN 2211 を用いることができた。この装置は最小ピクセルサイズ 100nm の高分解能撮像に対応した高精度 CCD と大型 FD の 2 種のカメラを備え、20 ~ 190kV 可変の加速電圧により、幅広い材料の測定を可能にしている。今回は、加速電圧 185kV、ピクセルサイズ 40 μm の条件を用いることで、高密度な鉄製品についても十分に透過し、非破壊で資料内部の情報を得ることが可能となった。

調査の結果、本資料において錫は、薄板状に



マイクロ X 線 CT



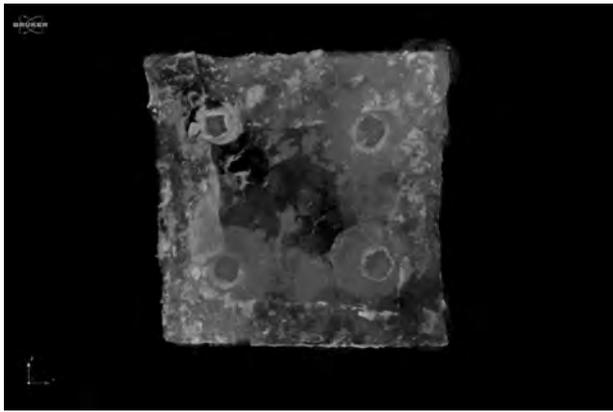
マイクロ X 線 CT の装置内部

加工したものを用い、鉄の地板より一回り大きいもので全体を覆うようにかぶせて、端部を裏側に折り曲げている状況や(画像 1)、鋌にも地板とは別個に錫を被せている状況が確認された(画像 2・3)。また、鋌に被せた錫薄板を鋌の裏で折り曲げている様子も映し出されている(画像 4)。

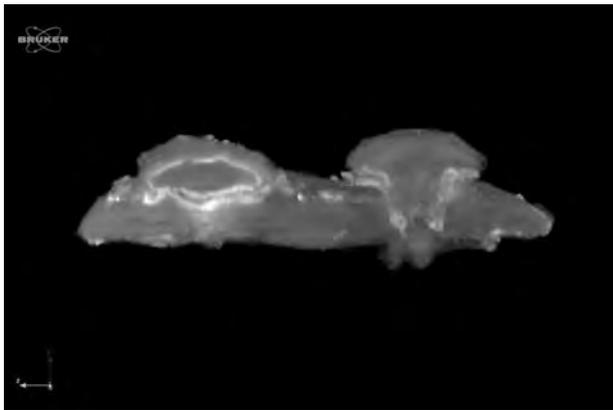
5. 錫を装飾に用いることの意味

先に記した福岡県福津市勝浦高堀遺跡出土大刀の環頭部分に施された錫装飾の調査では、二次元の透過 X 線観察と、蛍光 X 線のマッピング分析による調査で錫の存在は明らかにできたものの、錫使用の範囲や構造は明らかにし得なかった。しかし、今回の調査の結果、浦江遺跡 5 次調査 SO-03 出土の帯金具は、鉄地錫張製品であることが確認され、その装飾の状況も非破壊の状態では鮮明に知ることができたことは非常に重要である。

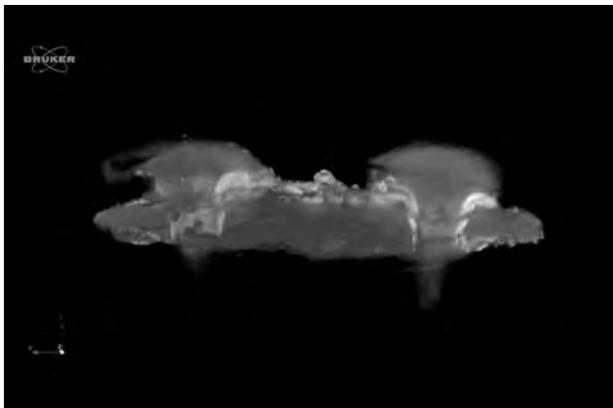
古墳時代の馬具等には、鉄を基材として表面装飾に金銅板や銀板を用いる例がよく知られて



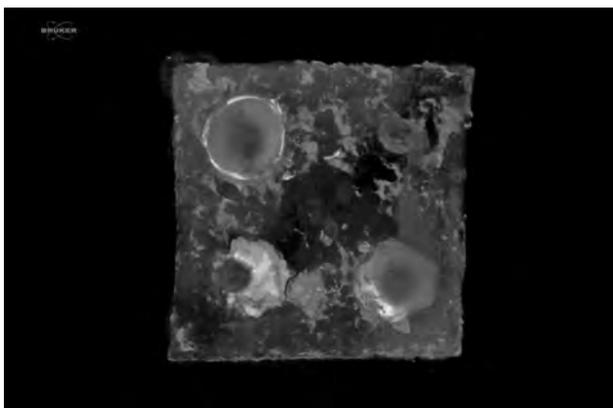
マイクロX線 CT による画像(1)



マイクロX線 CT による画像(2)



マイクロX線 CT による画像(3)

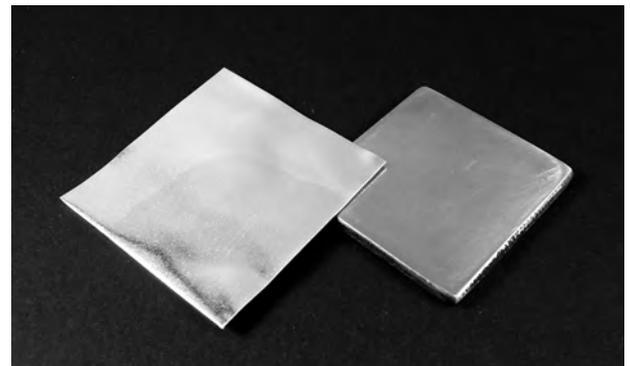


マイクロX線 CT による画像(4)

いる。今回の調査事例では、それに加え錫という金属も同様な用いられ方をしていることを明らかにすることができた。錫は酸化する以前は銀色の光沢を有しており、銀と同様の色味を持つ。耳環に用いられる例も含めて、銀の代替素材として用いられたと考えるのが、今のところ最も理由として自然なものとする。

6. 資料の復元

銀も錫も銀色に光り輝く金属である。同様に鉄も磨けば銀色に光る。銀色の金属を同じ色の金属で装飾することにどのような意味があったのであろうか。その解明も含めて復元品の製作も試みた。今回の作業は見た目を重視したもので、素材はホームセンターなどで販売されている汎用品を、道具も電動工具など現代に通有のものを用いている。

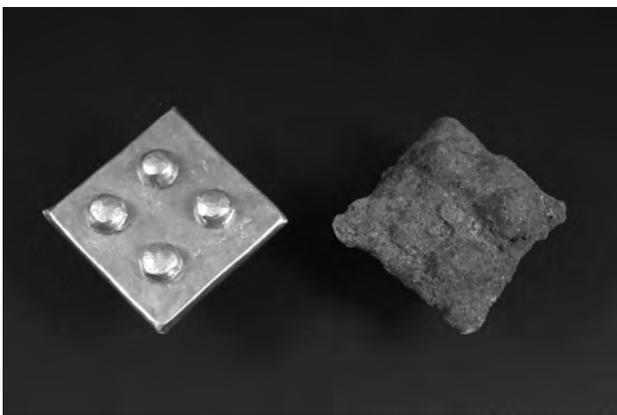


錫の薄板と研磨した鉄板
色味は異なるがどちらも銀色に輝く

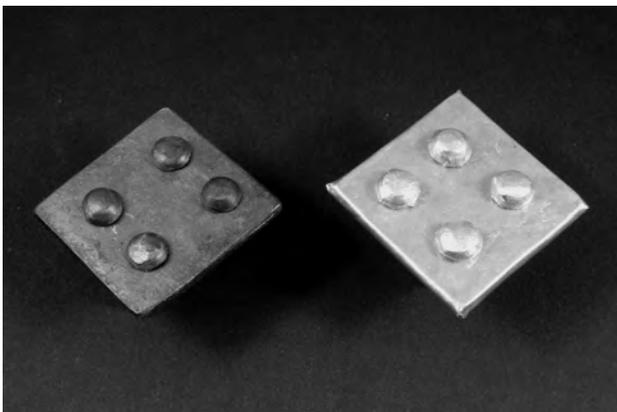
地板は帯状の鉄板を切断し、厚さを調節するためにバーナーで加熱して叩き延ばした。それを実物と同様の大きさに調整し、ドリルで4カ所、孔を開けた。鉾はボルトの頭部を半球状に整形し、ねじ山を削り落としたものを使用。

成形、穿孔した地板に、厚さ0.2mmの錫板を叩いて薄くしたものを地板より大きめに切断し、被せて四隅を折り曲げて固定。鉾も頭の部分に円形に切断した錫薄板を被せ、端は切れ目を入れながら折り込んで固定。実物では脚の部分にまで錫が及んでいたが、技術的にその状況は復元し得なかった。

確かに鏡面研磨した鉄板は銀色に光り輝き、錫の輝きと大差はない。しかし、作業の中で鉄の地板や鋌は加熱と鍛打によって黒変する。これを光り輝かせるために光沢のある金属板を被せるのは特に自然な流れと考える。鍛打加工の後に鏡面研磨をする選択肢もあるかもしれないが、長期的に色味を保つには貴金属の方が優れており、錫はその代用であったものと思われる。また、銅と異なり鉄には金や銀は直接メッキができないというのも、金属の薄板を被せる技法が用いられた理由の一つであろう。



完成した復元品(左)と実物(右)



加熱加工したままの鉄(左)と錫を被せたもの(右)

7. おわりに

出土資料の錫は銀や金銅に比べると遺存状況が悪く、鉄の装飾に用いられる資料においては、目視でその存在を確認することは難しい。見た目の判断で単なる鉄製品と誤認して通常の工程により保存処理されれば、グラインダーやエアブラシで錫は飛ばされてしまう危険があり、注

意を要する。

本資料については、調査の後、保存処理は行わず、現況のままの状態を残している。今後、何らか適切なクリーニング方法が見つかるまでは、X線CTの画像データや復元品を補助的に使いながら、資料の活用を行っていくべきと考える。

【参考文献】

- 永嶋正春1991「古墳時代における金属錫の利用」『歴博』第49号 国立歴史民俗博物館
- 成瀬正和1989「わが国上代の工芸材料としての錫」『正倉院年報』第11号 宮内庁正倉院事務所
- 比佐陽一郎2003「福岡市内出土の錫製品について」『福岡市埋蔵文化財センター年報』第21号 福岡市教育委員会
- 比佐陽一郎2004「錫、鉛製耳環に関する基礎的検討—福岡市内の出土例を中心として—」『古文化談叢』第50集下 九州古文化研究会
- 比佐陽一郎ほか2005「錫で装飾された古墳時代の環頭大刀—福岡県福津市勝浦高堀出土資料の保存科学的調査—」『日本文化財科学会第22回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会
- 吉留秀敏ほか2004『金武1 金武地区農村振興総合整備統合補助事業関係調査報告1—浦江遺跡第5次調査—』福岡市埋蔵文化財調査報告書第792集 福岡市教育委員会

IV 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

平成24年度の機構改革で、文化財部は経済観光文化局へ移管し、埋蔵文化財センターは所長のみ教育委員会と兼務となった。

文化財部の組織

文化財保護課	管理調整係 整備活用係 文化財調査普及係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化財施設の管理 史跡の保存・整備・活用、文化財関係団体との連絡調整 文化財保護審議会、文化財の調査、普及事業
大規模史跡整備推進課	福岡城跡整備係	福岡城跡の調査・整備、課の庶務、福岡みんなの城基金に関すること
埋蔵文化財課	鴻臚館跡整備係	鴻臚館跡の調査・整備
	管理係	課の予算・決算、経理、課の庶務
	事前審査係	公共及び民間開発事業に係る埋蔵文化財の事前審査及び周知
	調査第1係 調査第2係	主に東部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存 主に西部地区における埋蔵文化財の発掘調査及び保存
課長(文化財活用計画担当)		
埋蔵文化財センター	運営係 保存分析係	埋蔵文化財の収蔵・保管・展示等、教育普及 埋蔵文化財の保存・分析

(2) 埋蔵文化財センターの職員(平成28年度)

所長 大庭 康時	運営係長 森山 浩	文化財主事 阿部 泰之 文化財主事 今井 隆博	嘱託 力武 卓治 (文化財教育普及専門員) 吉井 康史 (保存処理指導員)
	保存分析係長 比佐 陽一郎	文化財主事 上角 智希	

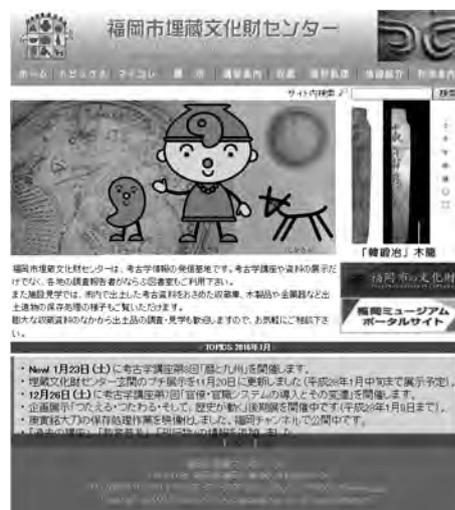
2. 施設

(1) 施設の概要

当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建(建築面積1,050㎡、延床面積1,992㎡)の規模で昭和57年2月に開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築(増築面積1,035㎡、増延床面積1,994㎡)を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。現在、敷地面積7,481㎡、建築面積3,987㎡、延床面積10,713㎡の施設規模である。

(2) 施設の紹介

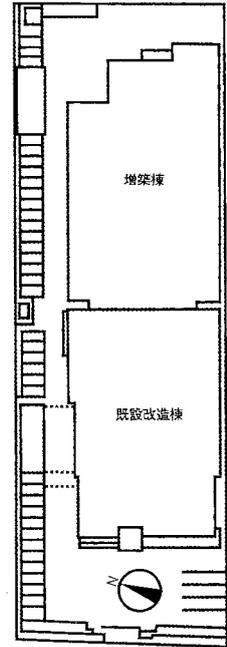
ホームページ(<http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html>)には施設の概要のほか、前年度の事業実績、年度毎の保存処理資料の紹介、収蔵遺物、展示品、講座案内などを掲載している。



主な施設

施設区分	室名	床面積 (㎡)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

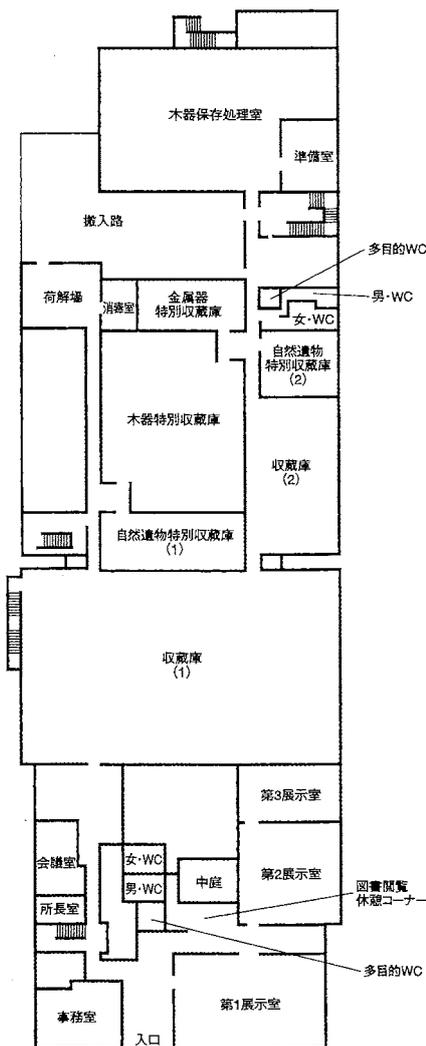
施設区分	室名	床面積 (㎡)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室 (光学機器室)	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	庇・トラックヤード等	505.00
	計	10,713.00



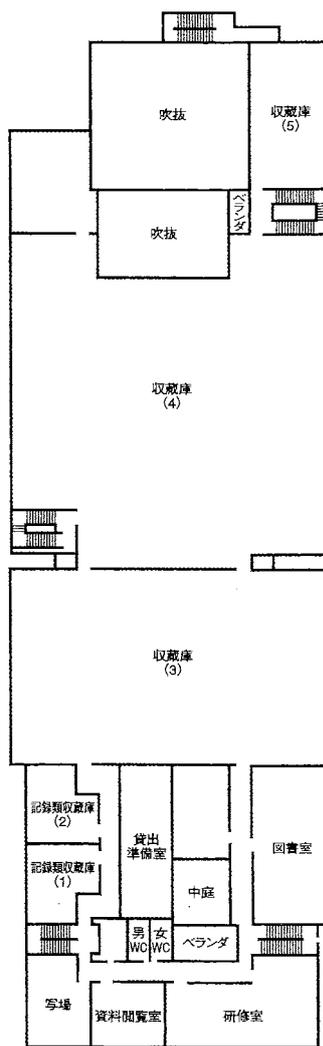
建物配置図 ▶

正面入口

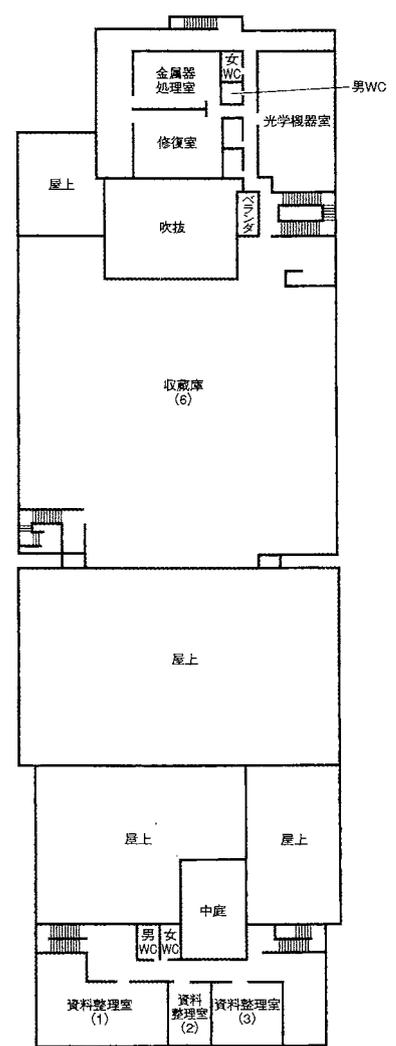
▼ 施設平面図



(1階)



(2階)



(3階)

3. 月隈収蔵庫の取得

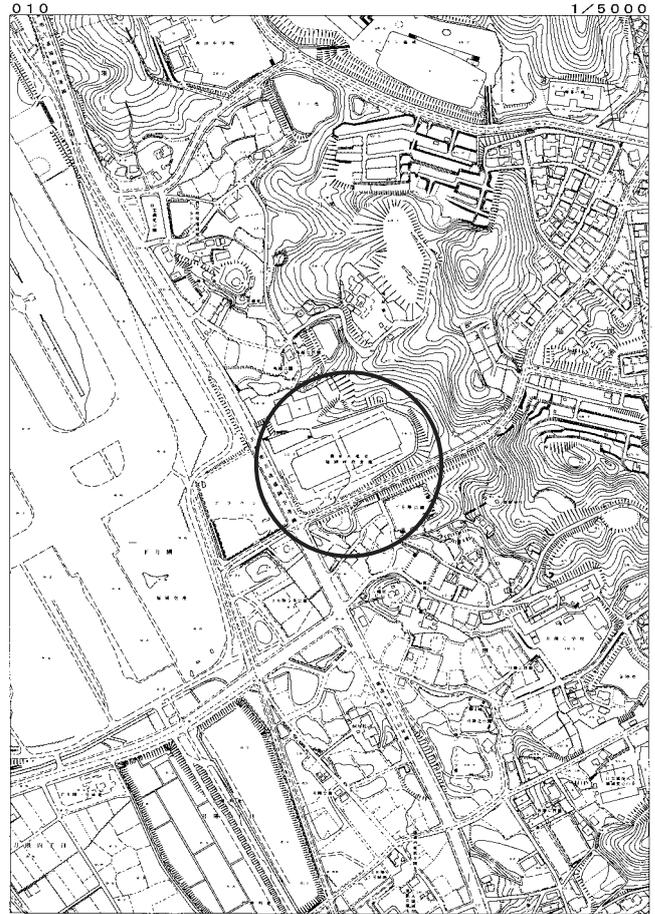
(1) 取得に至る経緯

増加する収蔵資料に対し埋蔵文化財センターの収容能力が限界に近づき、平成29年度中に満杯を迎える見通しとなったため、平成24年度から収蔵庫再整備の検討を行った。埋蔵文化財センターでの増築あるいは他の既存施設の活用等を検討したうえで、福岡空港の南東に隣接する「農林水産省 旧福岡政府倉庫」を候補地とした。旧福岡政府倉庫は、政府備蓄米を保管するために平成6年3月に建設された倉庫であるが、平成22年10月に用途廃止となっていた。

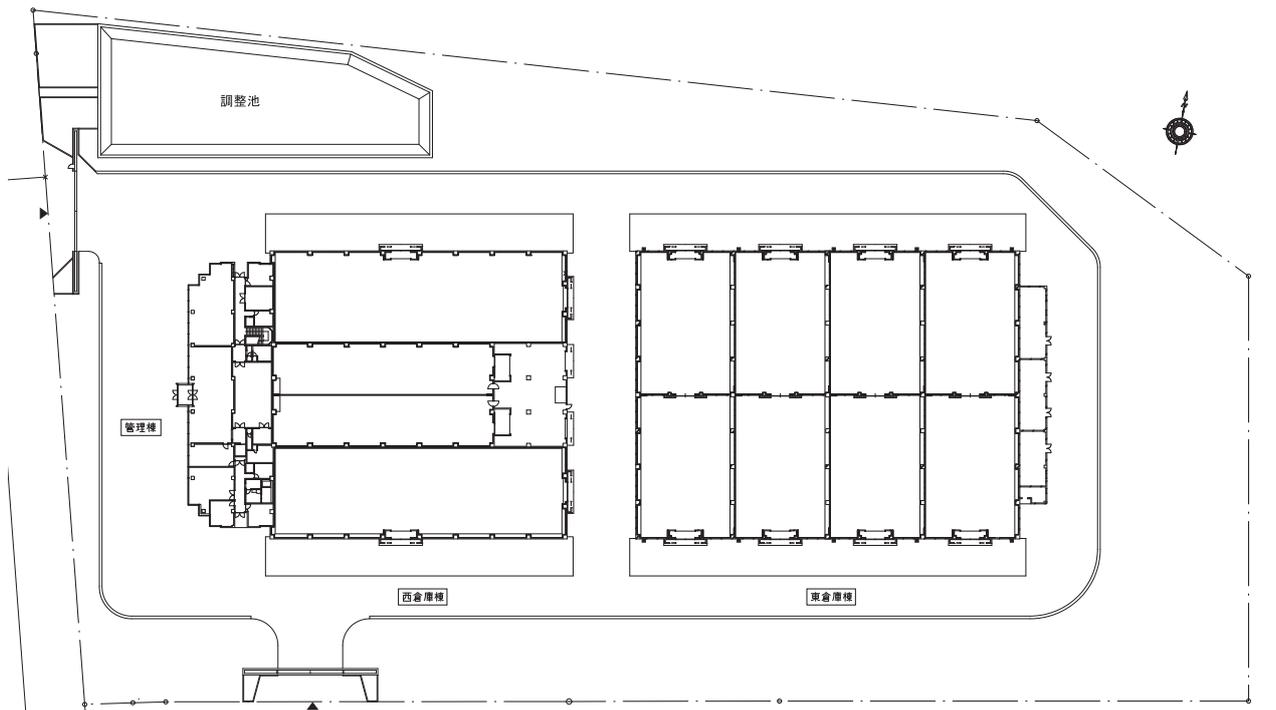
埋蔵文化財センターからは直線距離約2kmの位置にあり、土地が広く活用に適した倉庫建物が付属していることから、平成28年3月に取得し、月隈収蔵庫として使用することとなった。

(2) 概要

博多区月隈1丁目13-17に所在し、敷地面積24,974.68㎡、建築面積8,347.93㎡、延床面積8,639.47㎡で、管理棟・西倉庫棟・東倉庫棟から成る。西倉庫棟の一部は災害用備蓄物資の保管場所としても活用されている。



▲ 位置図



▲ 施設平面図

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日)
条例第66条

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

(2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(昭和57年教規則第3号により)
昭和57年2月22日から施行

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和57年1月25日)
教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 削除

(平成24教規則2)

(職員)

第3条 センターに所長を置く。

- 2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。
- 3 所長は、職員のうちから命ずる。
- 4 所長は、上司の命を受けてセンターの事務を掌理し、及び処理する。
- 5 その他職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(平成24教規則2・全改)

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、教育支援部長がその事務を行う。

(平成24教規則2・全改)

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。
- (5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出し)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

- 2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書(様式第2号)を交付して行う。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

附 則(昭和61年3月31日教規則第2号)

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(平成3年3月28日教規則第7号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成4年3月30日教規則第3号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教規則第1号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月29日教規則第8号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年6月28日教規則第10号)

この規則は、平成19年7月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日教規則第2号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記の要件を満たすものであることを原則とする。

(1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。

(2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の使用基準

(1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。

(2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。

(3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。

(4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。

(5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。

(6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。

(7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別表一覧表のとおりとする。

4. 許可基準の理由 (略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙)*主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線水分計、大型滑走式マイクロトーム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取扱い要項

(目的)

第1 この要項は、福岡市埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次のとおりとする。なお、手数料については利用者が見やす

いところに掲示するものとする。

(1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出しした領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付 則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成28(2016)年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧

- 第1304集 原遺跡 20 —第34次調査— (調査番号 1526)
第1305集 有田・小田部 57 —有田遺跡群第262次調査報告— (調査番号 1530)
第1306集 飯倉B遺跡 2 —飯倉B遺跡第3次調査の報告— (調査番号 1512)
第1307集 井尻B遺跡 27 —井尻B遺跡第42次調査報告— (調査番号 1434)
第1308集 クエゾノ遺跡 2 —クエゾノ遺跡第4次調査の報告— (調査番号 1419)
第1309集 山王遺跡 8 —第10次調査報告— (調査番号 1520)
第1310集 下山門遺跡 2 —第2次調査報告— (調査番号 1510)
第1311集 住吉神社遺跡 2 —住吉神社遺跡第3次調査報告— (調査番号 1408)
第1312集 那珂 76 —那珂遺跡群第156次調査の報告— (調査番号 1505)
第1313集 野方平原遺跡 2 —野方平原遺跡第3次調査報告— (調査番号 1522)
第1314集 野多目C遺跡 5 —野多目C遺跡第6次調査報告— (調査番号 1438)
第1315集 博多 157 —博多遺跡群第204次調査報告— (調査番号 1449)
第1316集 箱崎 49 —箱崎遺跡第73次調査報告— (調査番号 1501)
第1317集 箱崎 50 —箱崎遺跡第74次・75次調査報告— (調査番号 1502・1506)
第1318集 箱崎 51 —箱崎遺跡第76次調査報告— (調査番号 1507)
第1319集 比恵 76 —比恵遺跡群第136次調査報告— (調査番号 1448)
第1320集 比恵 77 —比恵遺跡群第137次調査報告— (調査番号 1503)
第1321集 比恵 78 —比恵遺跡群第140次調査報告— (調査番号 1528)
第1322集 福岡城下町遺跡 1 —福岡城下町遺跡第1次調査の報告— (調査番号 1435)
第1323集 麦野A遺跡 9 —麦野A遺跡第23次・24次調査報告— (調査番号 1441・1446)
第1324集 弥永原 8 —弥永原遺跡第11次調査の報告— (調査番号 1436)
第1325集 藤崎遺跡 21・千里遺跡 2・千里向川原遺跡 1 —藤崎遺跡第33次調査・千里遺跡第2次調査・千里向川原遺跡第2次調査の報告— (調査番号 0262・1028・1340)
第1326集 史跡 鴻臚館跡 鴻臚館跡 23 —北館部分の調査(2)— (調査番号 0008・0109・0218・0617・0706・0821・0906・1013・1116・1205・1314)
第1327集 「国史跡 福岡城跡」本丸武具櫓跡 発掘調査報告(調査番号 1334・1439)
第1328集 元岡・桑原遺跡群 28 —第20次・第42次・第53次・第57次・第63次・第66次調査の報告— 九州大学統合移転用地内埋蔵文化財調査報告書(調査番号 0001・0451・0768・1103・1328・1525)

福岡市埋蔵文化財年報 VOL.30 —平成27(2015)年度版—

- 井相田A遺跡第2次調査(調査番号 1511)
那珂遺跡群第157次調査(調査番号 1514)
有田遺跡群第260次調査(調査番号 1518)
立花寺遺跡第9次調査(調査番号 1521)
立花寺遺跡第10次調査(調査番号 1523)
有田遺跡群第261次調査(調査番号 1527)
那珂遺跡群第159次調査(調査番号 1535)
雑餉隈遺跡第20次調査(調査番号 1536)
那珂遺跡群第160次調査(調査番号 1542)
上月隈古墳群第1次調査(調査番号 1549)
警弥郷B遺跡第7次調査(調査番号 1550)

福岡市埋蔵文化財センター年報 第36号

2017年12月28日

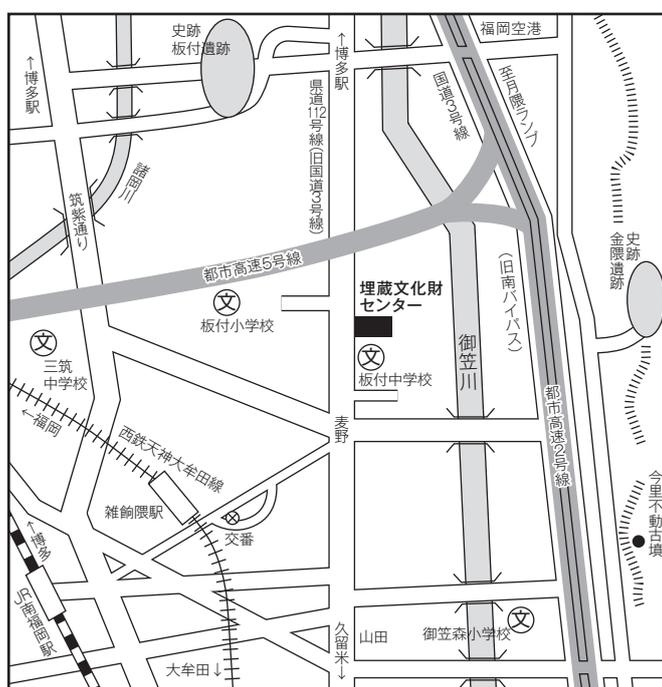
発 行 福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1-8-1

印 刷 株式会社ミドリ印刷
福岡市博多区博多駅南6丁目 17-12

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No.36
2017



福岡市埋蔵文化財センター

- 所在地** 〒812-0881 福岡市博多区井相田^{いそうだ}2丁目1-94
- 電話** (092) 571-2921 FAX. (092) 571-2825
- 開館時間** 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 毎週月曜日・年末年始(12月28日～1月4日)
- 入館料** 無料(ただし団体見学の案内は事前に連絡が必要です)
- 交通手段**
- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈^{ざっしよのくま}駅から徒歩15分
 - JR 鹿児島本線 南福岡駅から徒歩25分
 - 西鉄バス 博多バスターミナル12番のりばから
先行番号41番のバスに乗車約30分
板付中学校前(埋蔵文化財センター前)下車すぐ
- ホームページ** <http://www.city.fukuoka.lg.jp/maibun/html/>